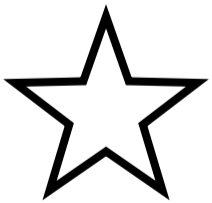
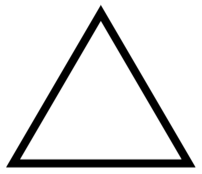
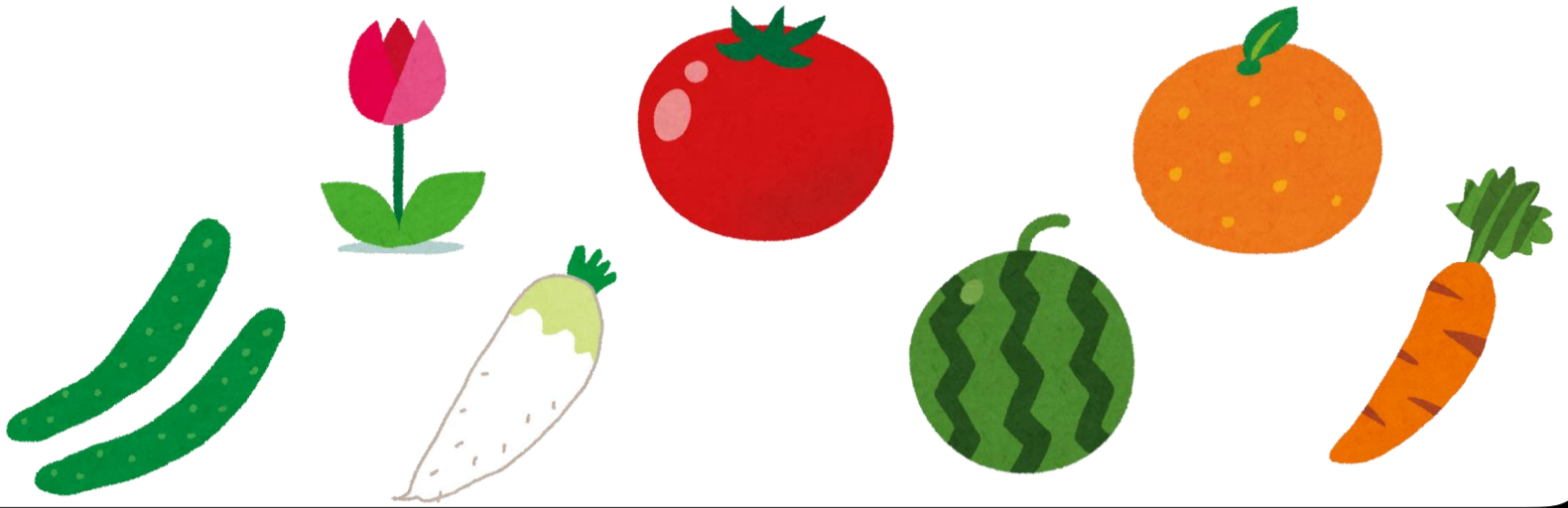
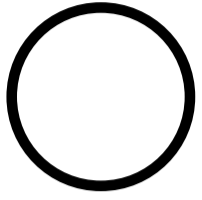
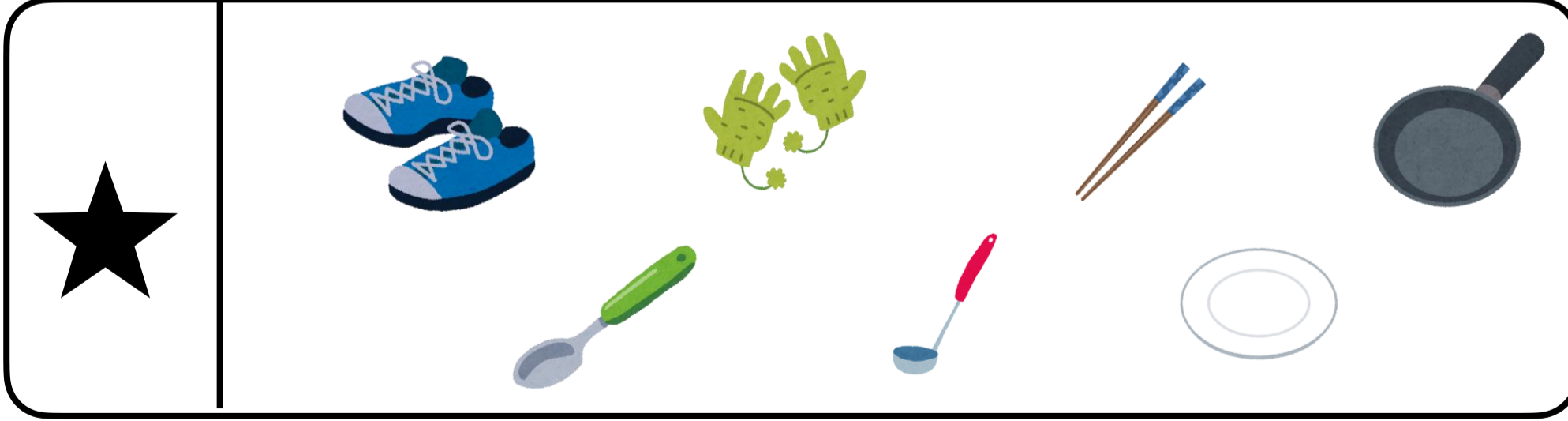
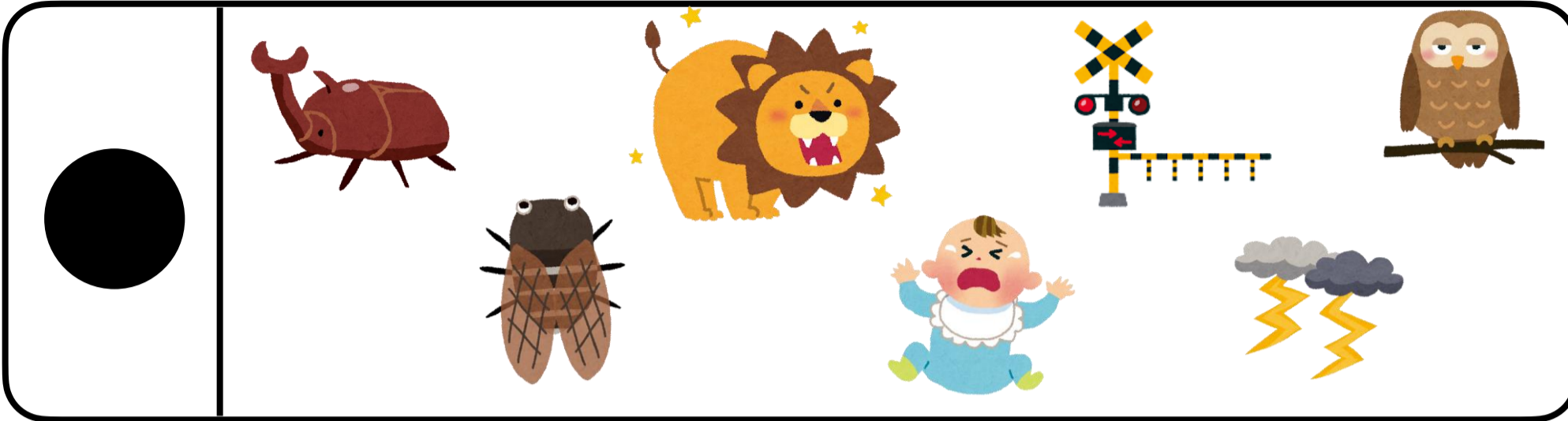
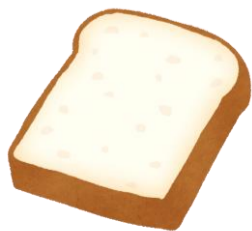
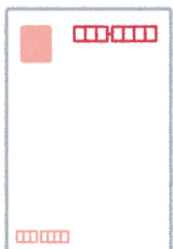
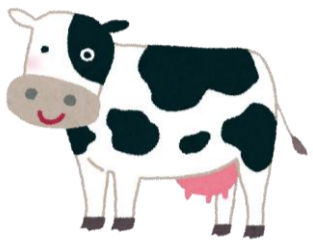
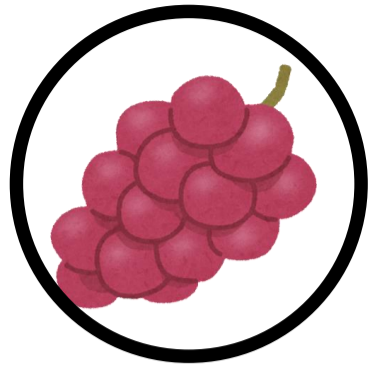
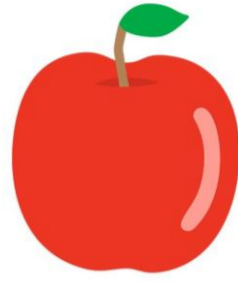
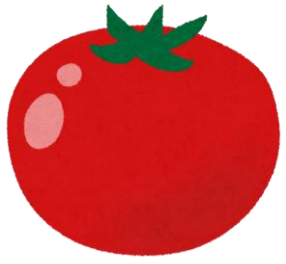


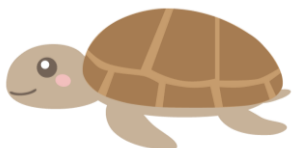
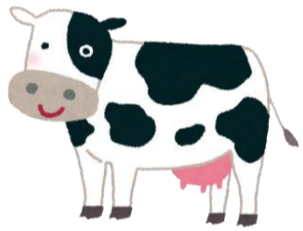
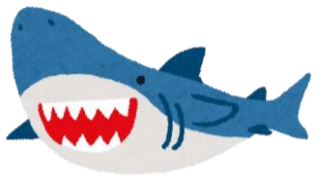
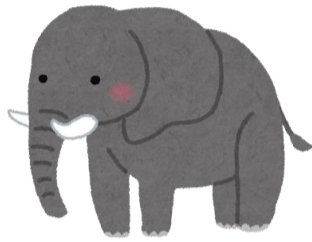
令和6年度  
第一回入学試験

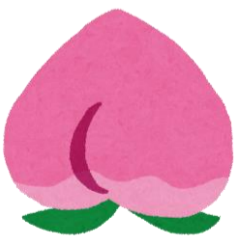
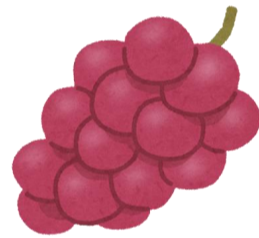
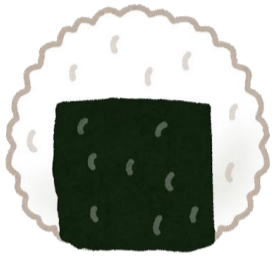
へー、はいーA

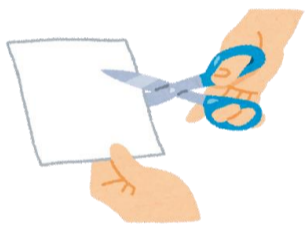




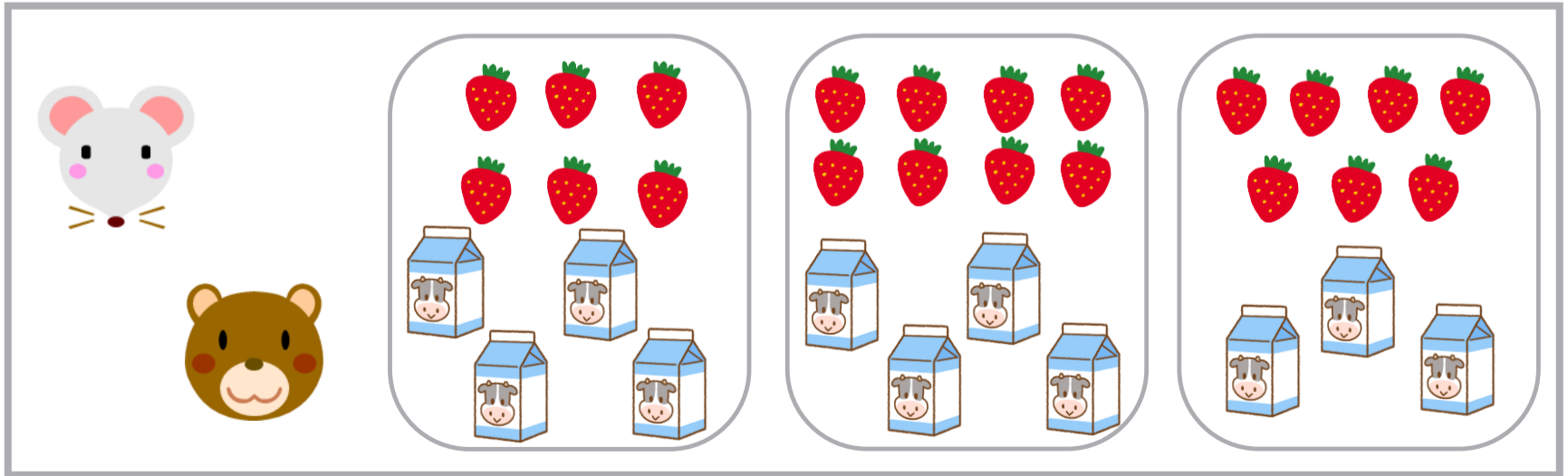
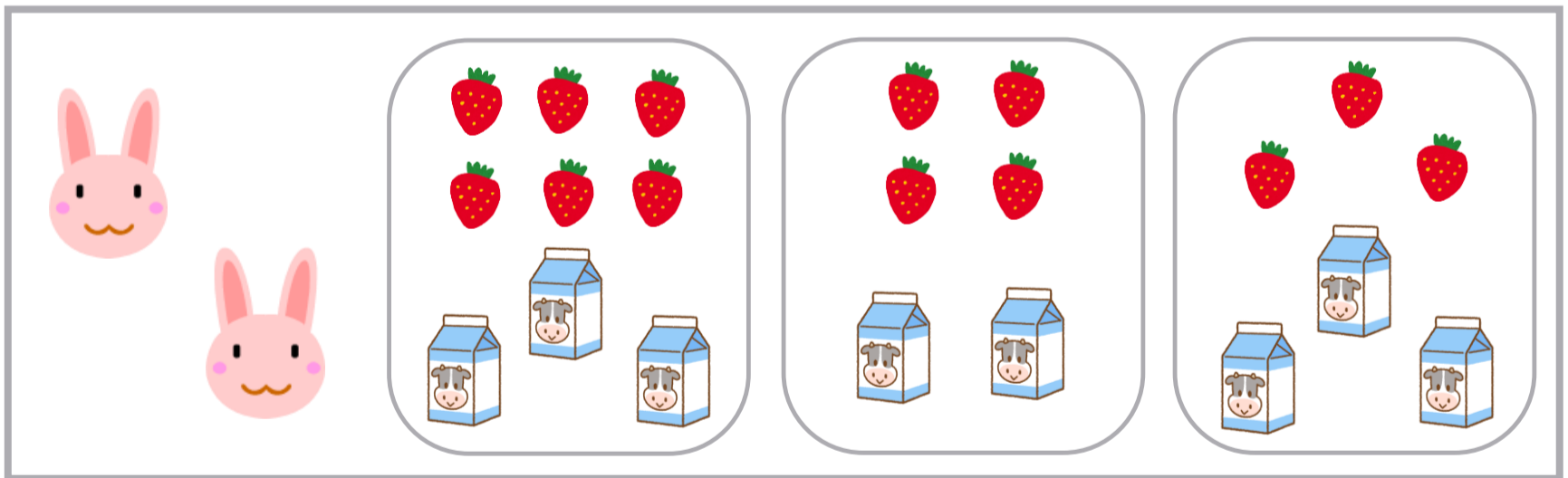
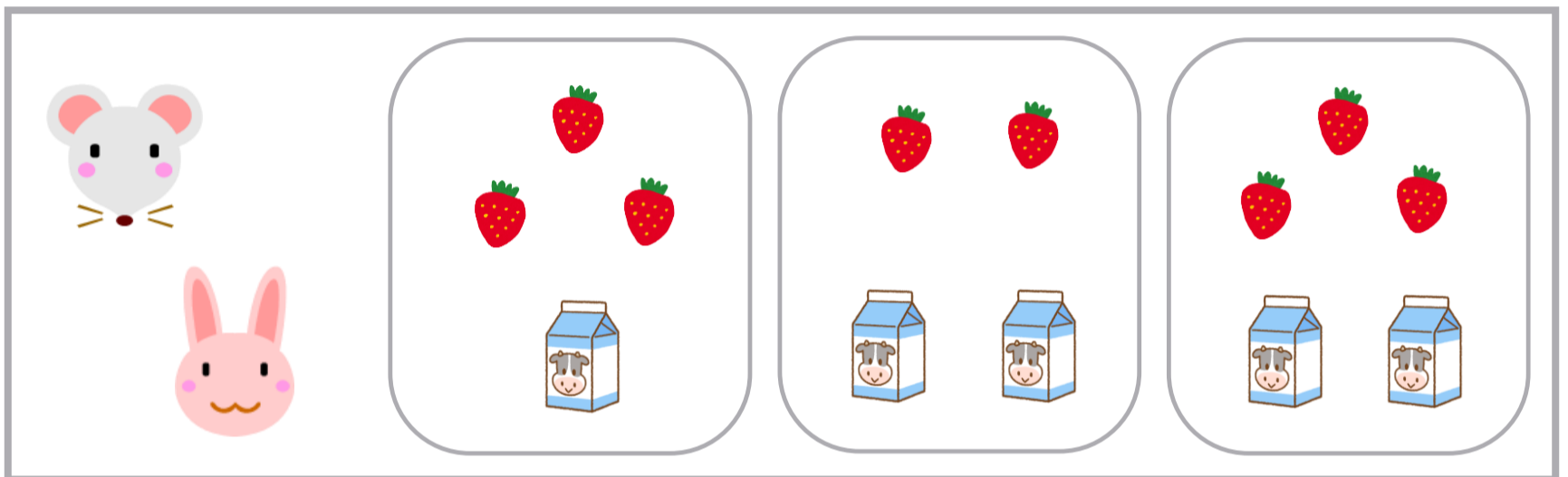
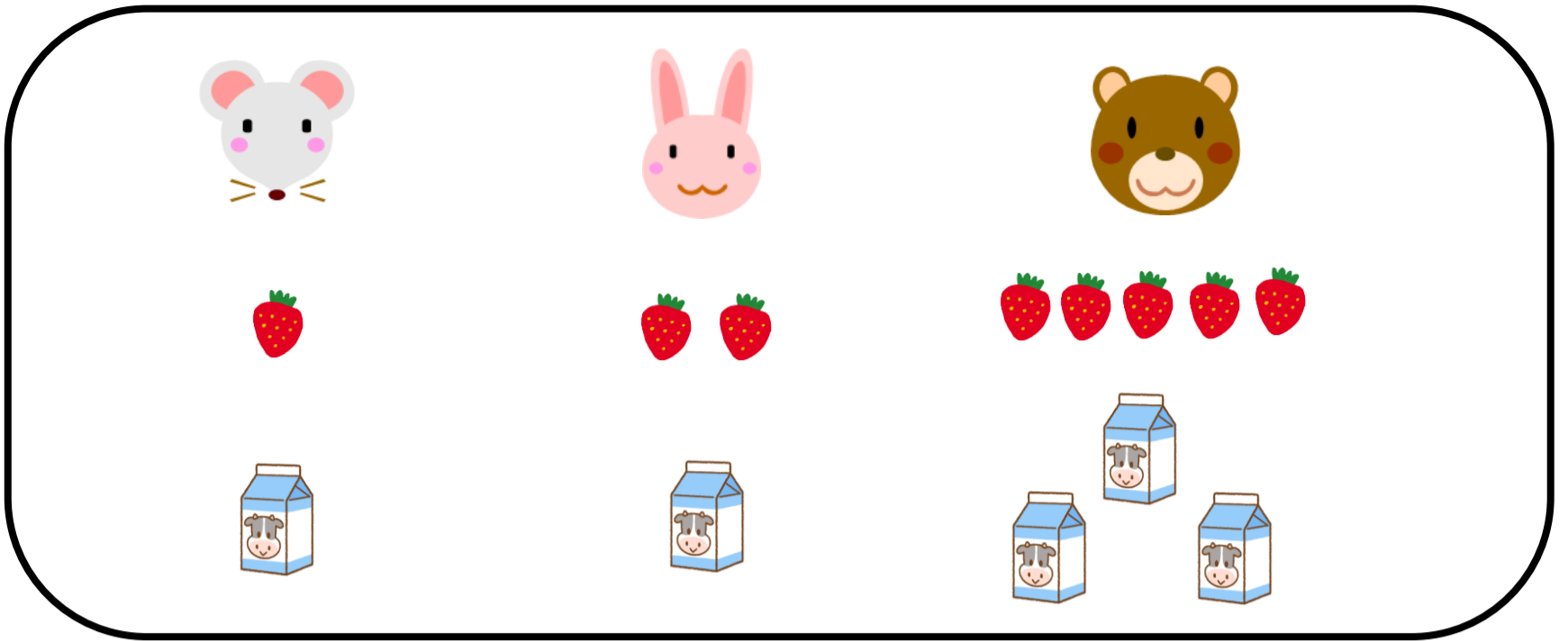


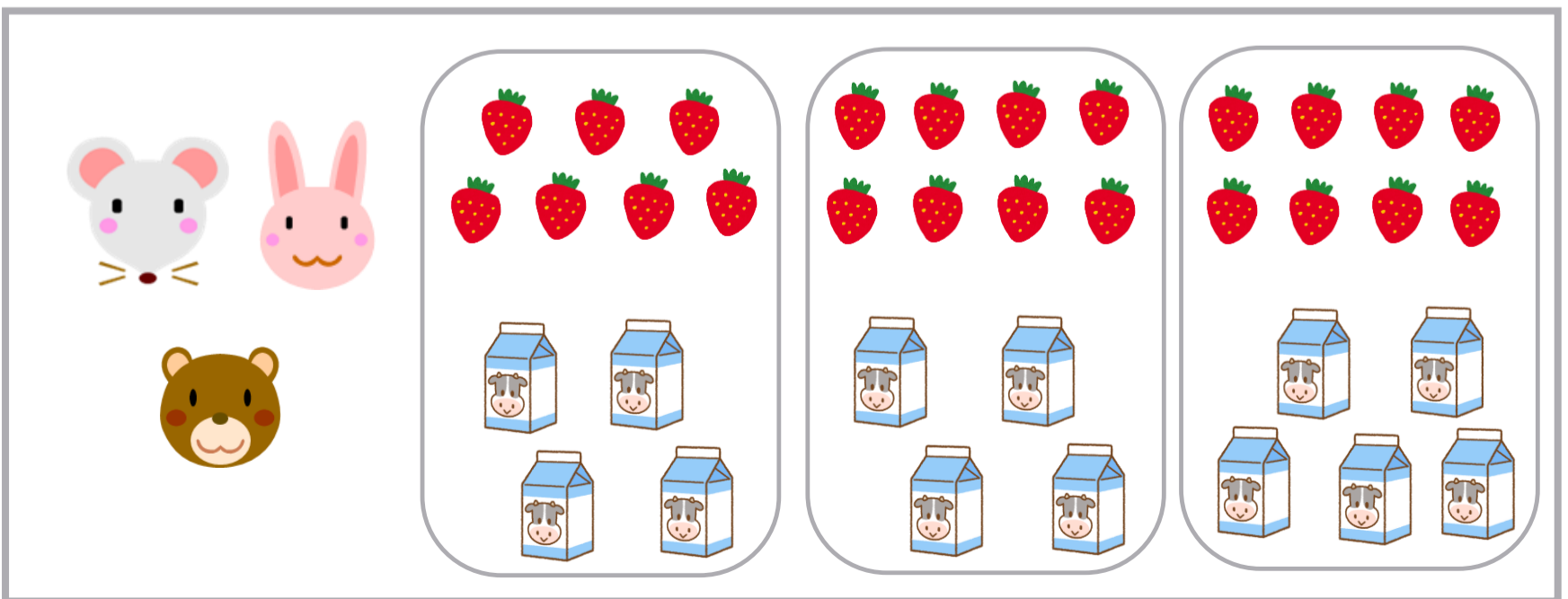
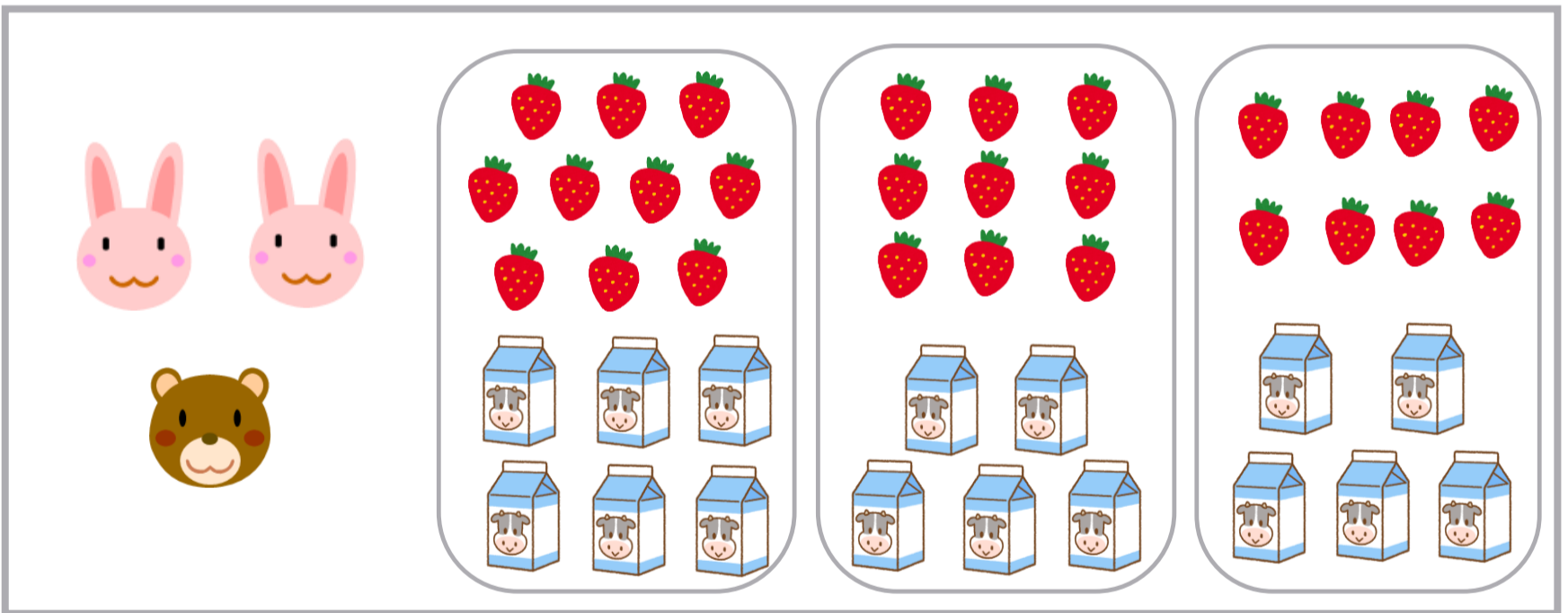
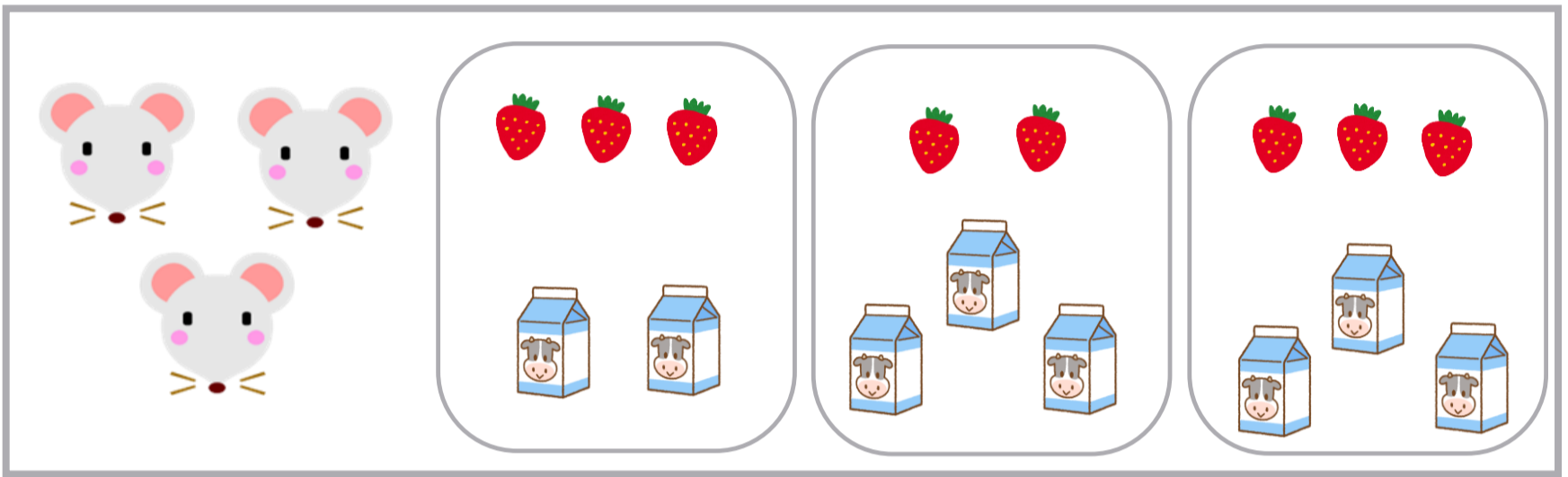
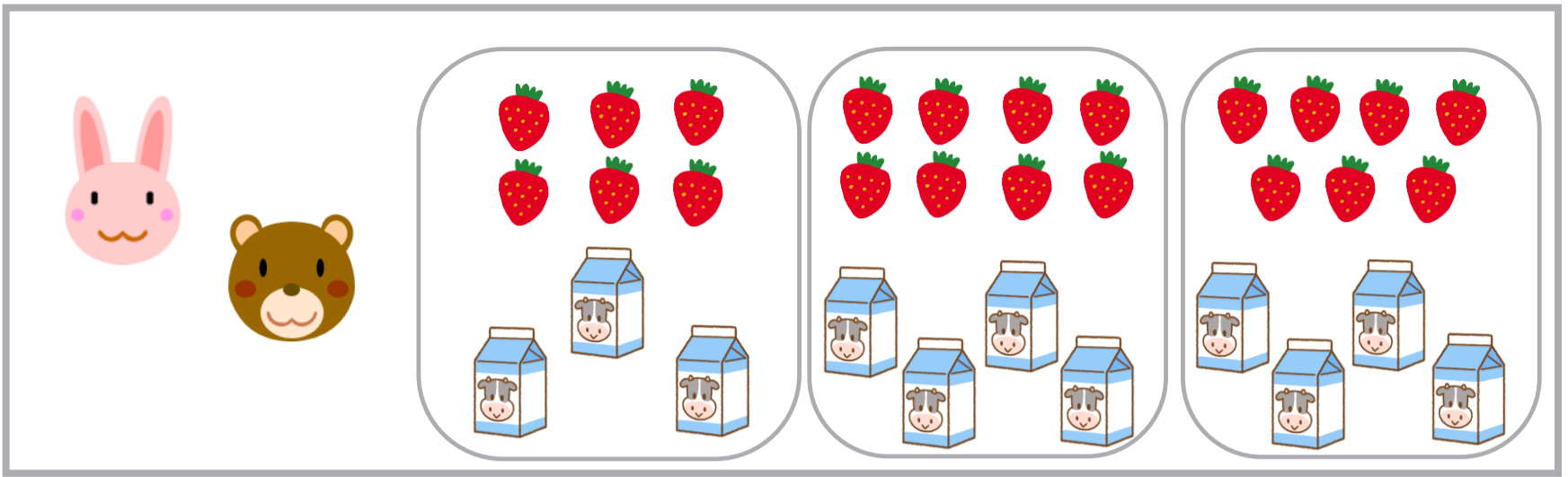


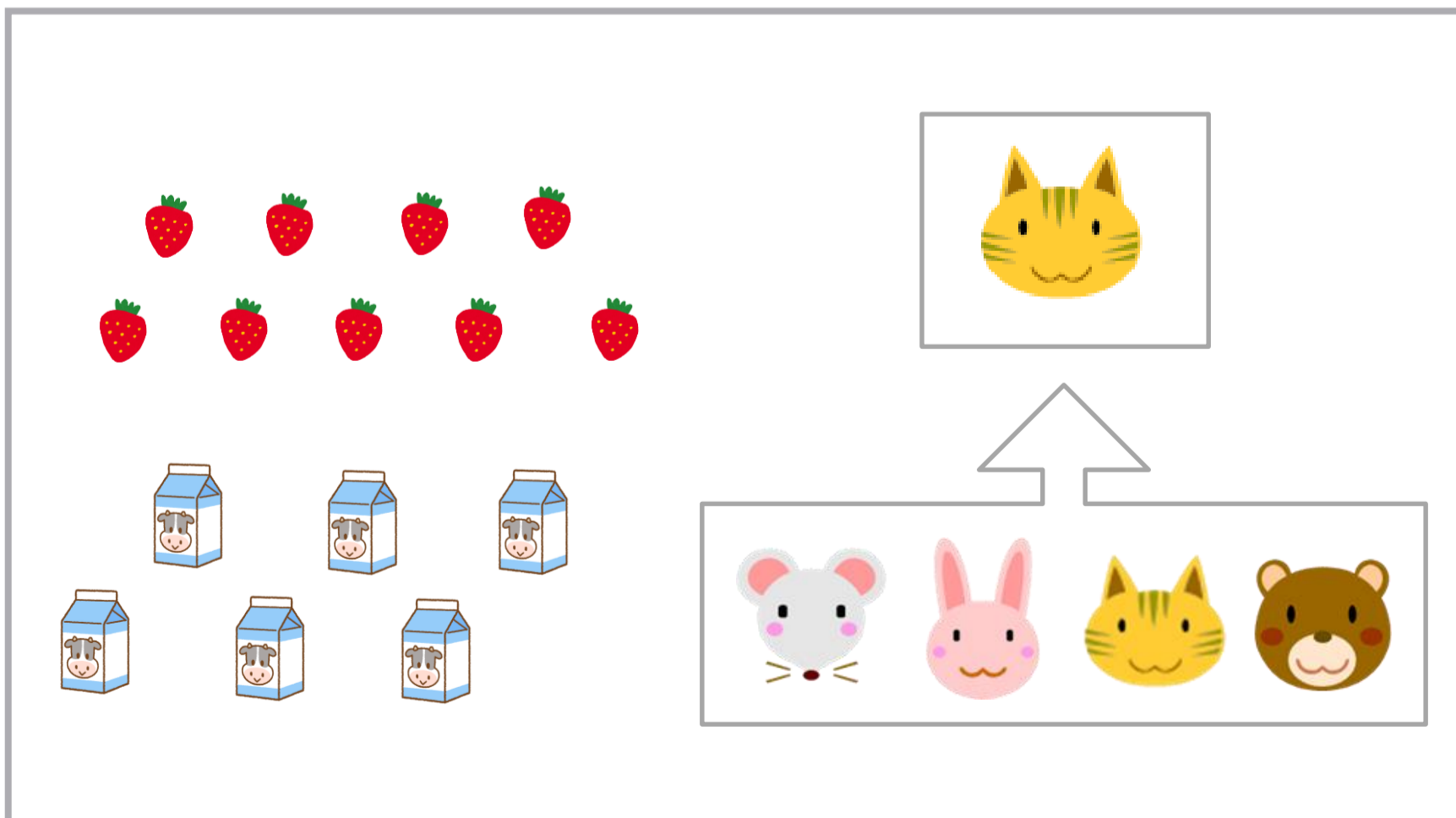
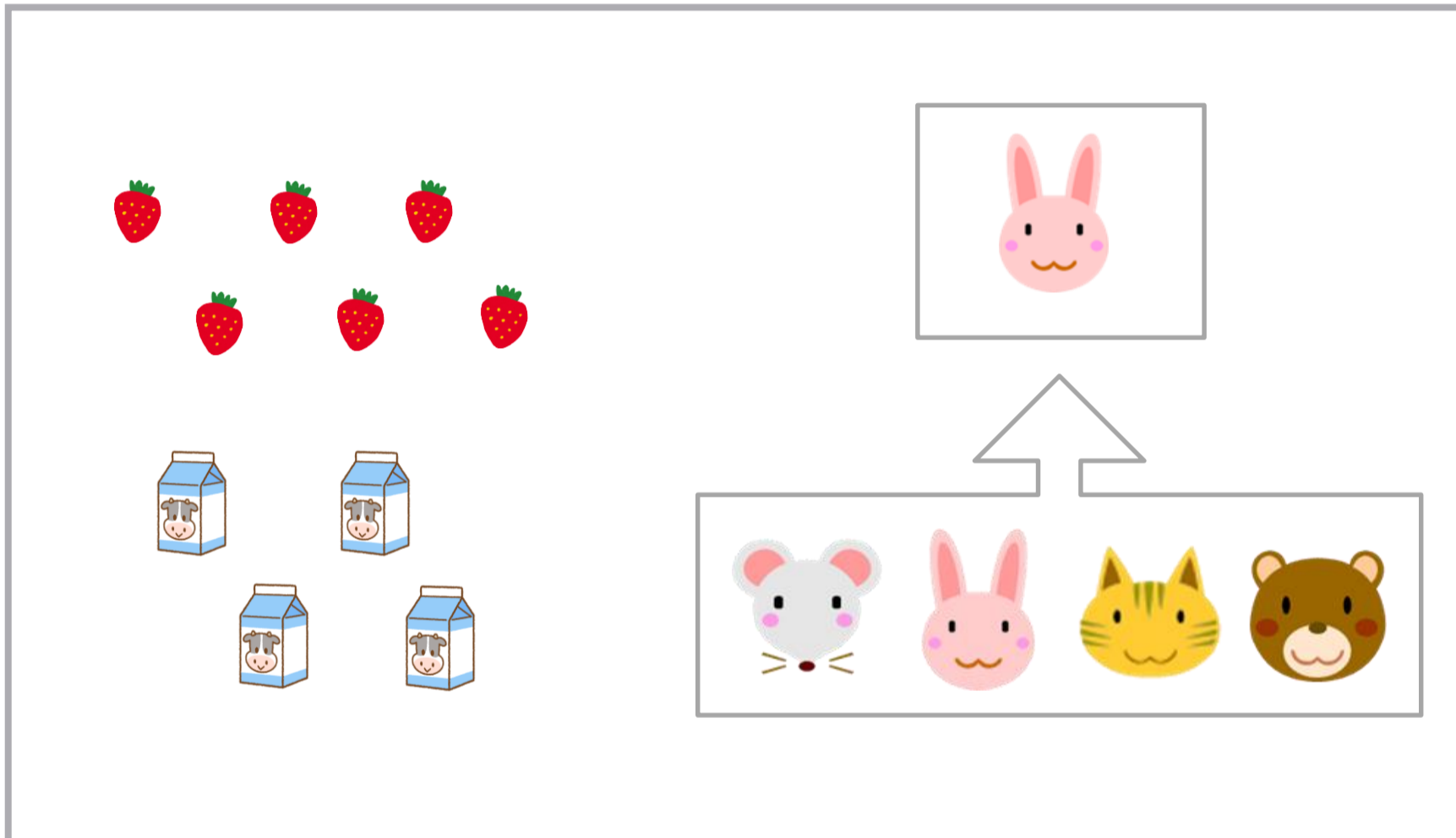
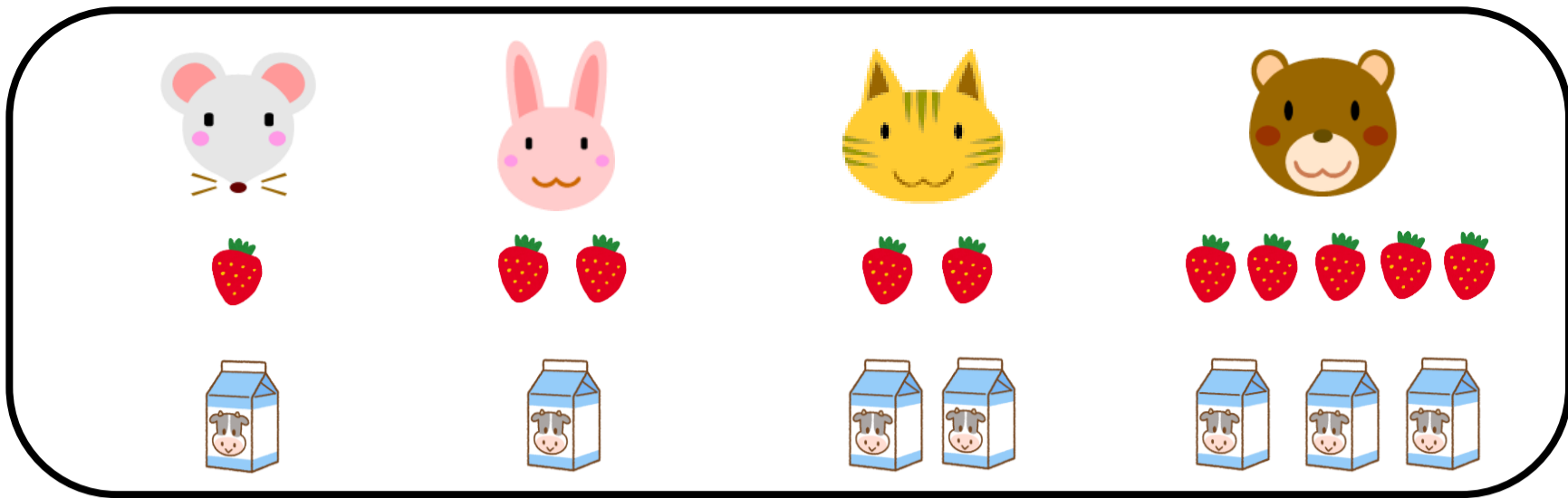


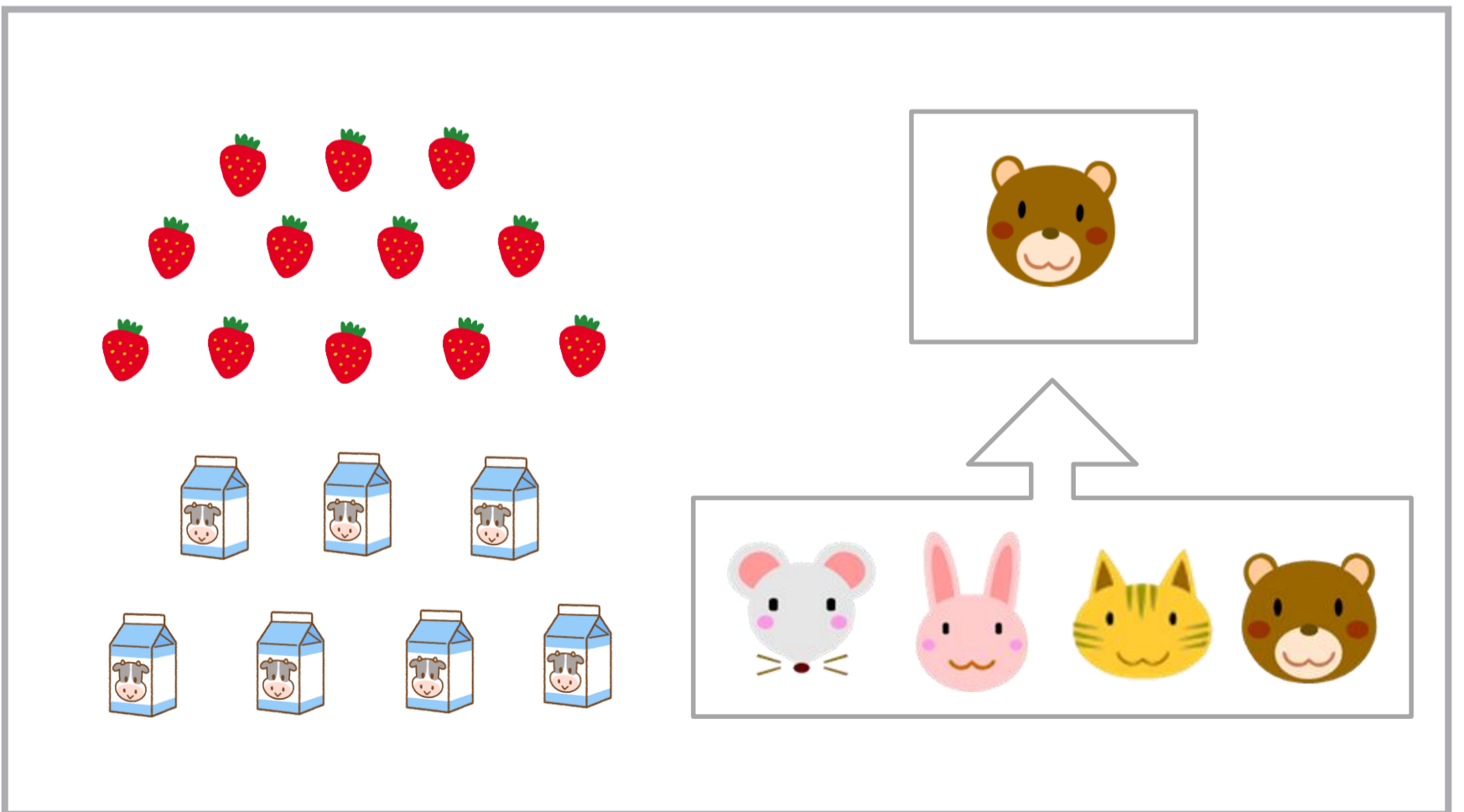
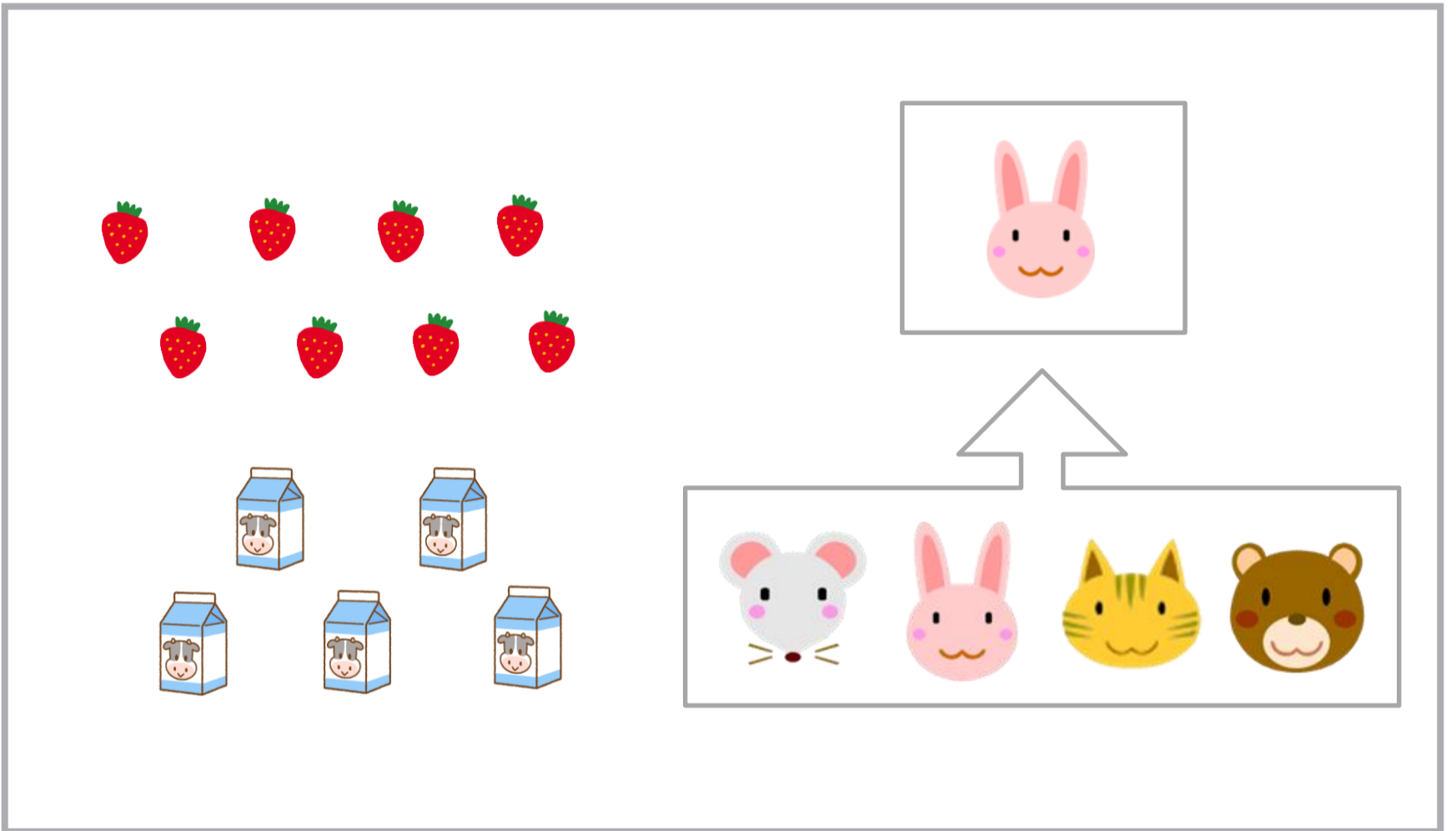




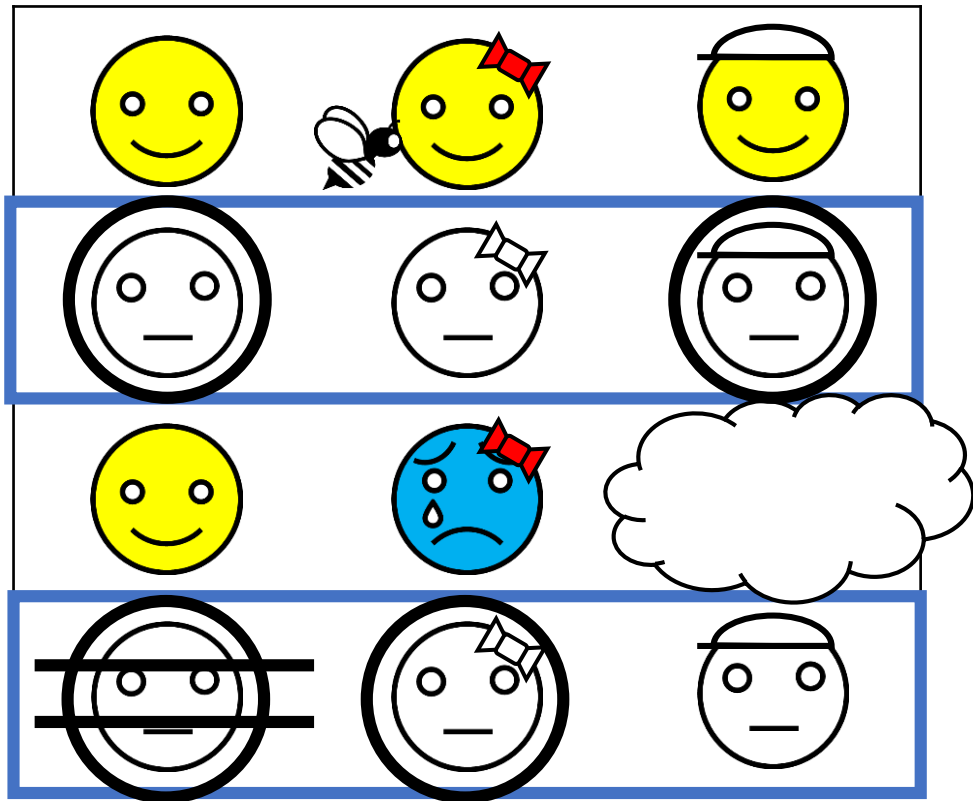
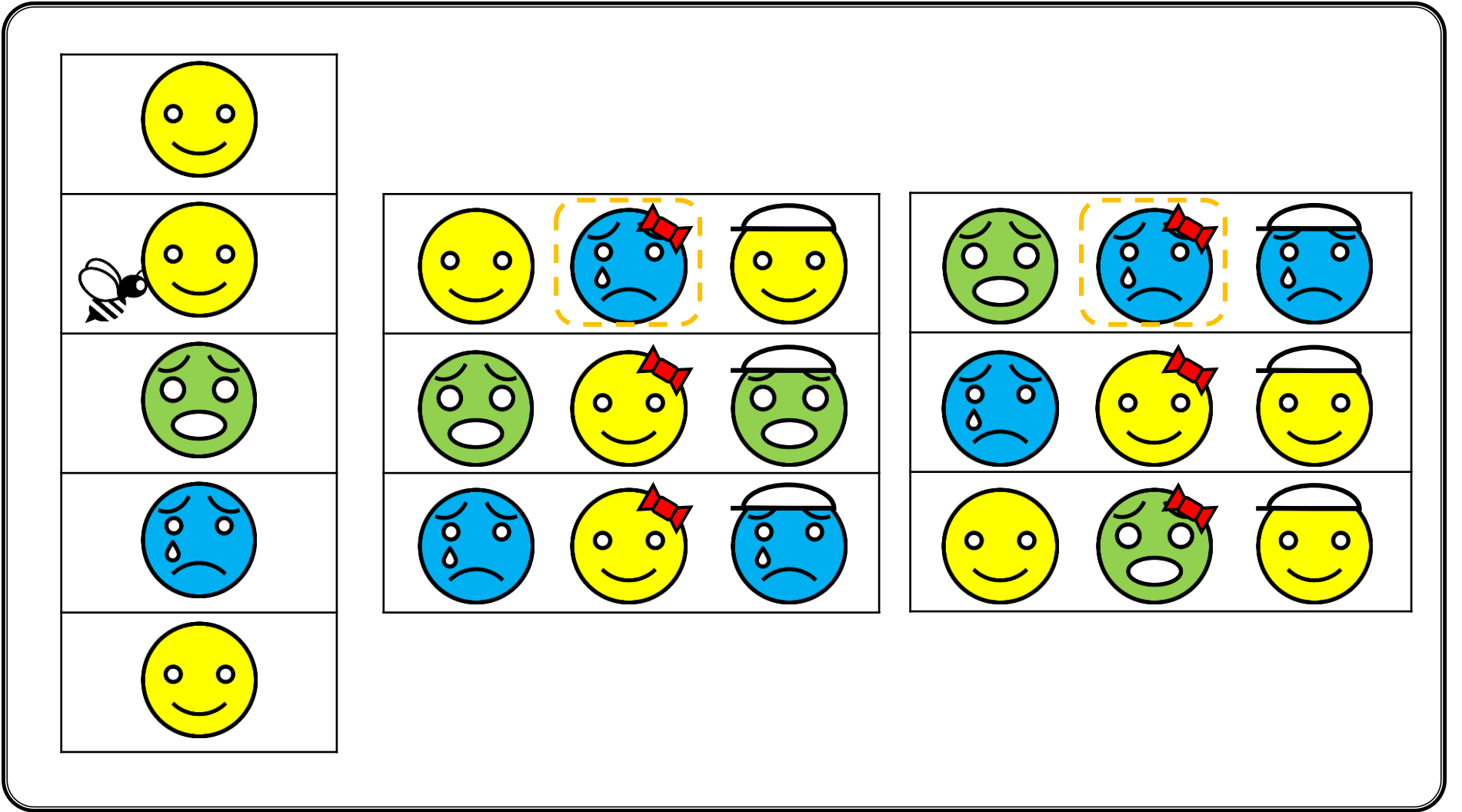


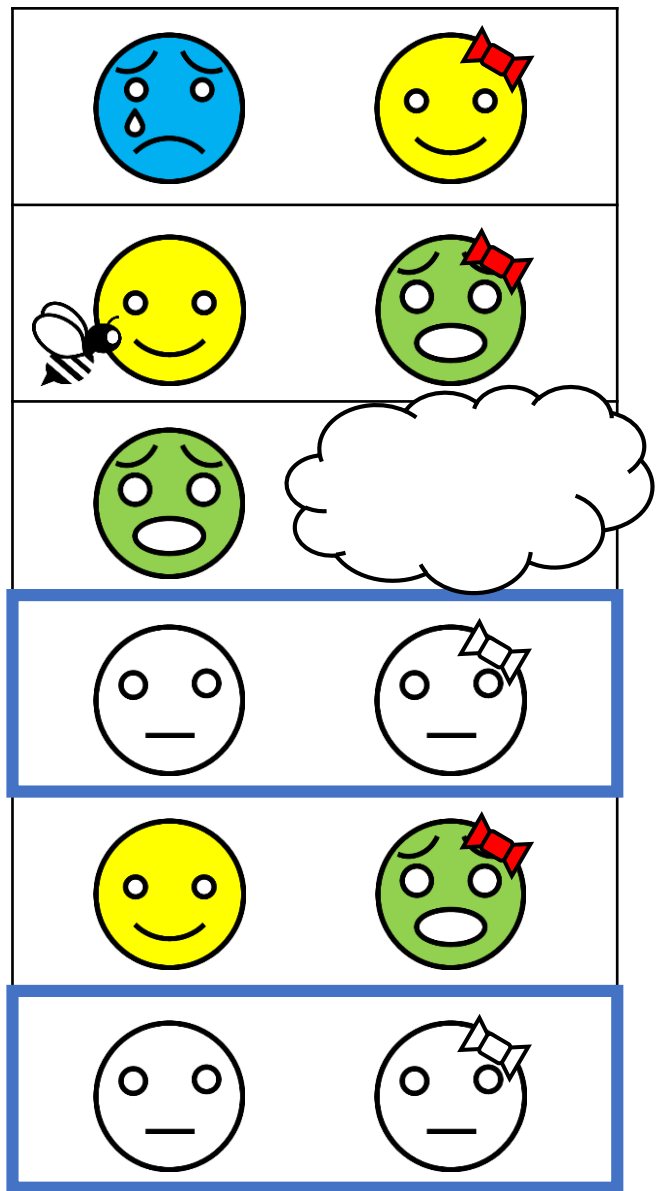
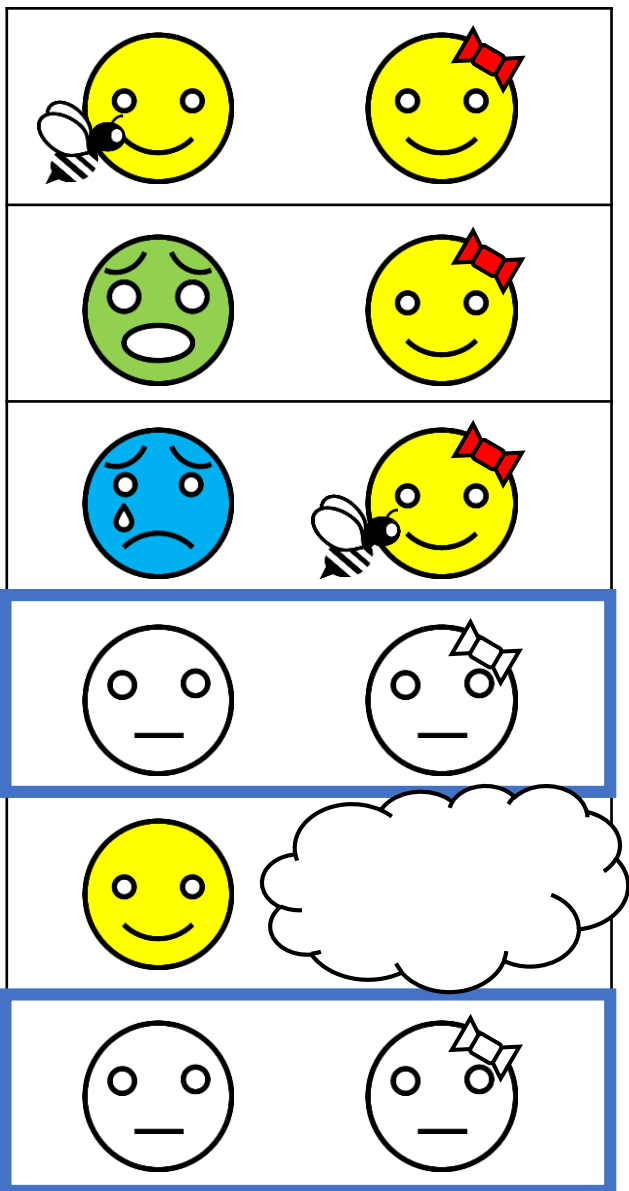
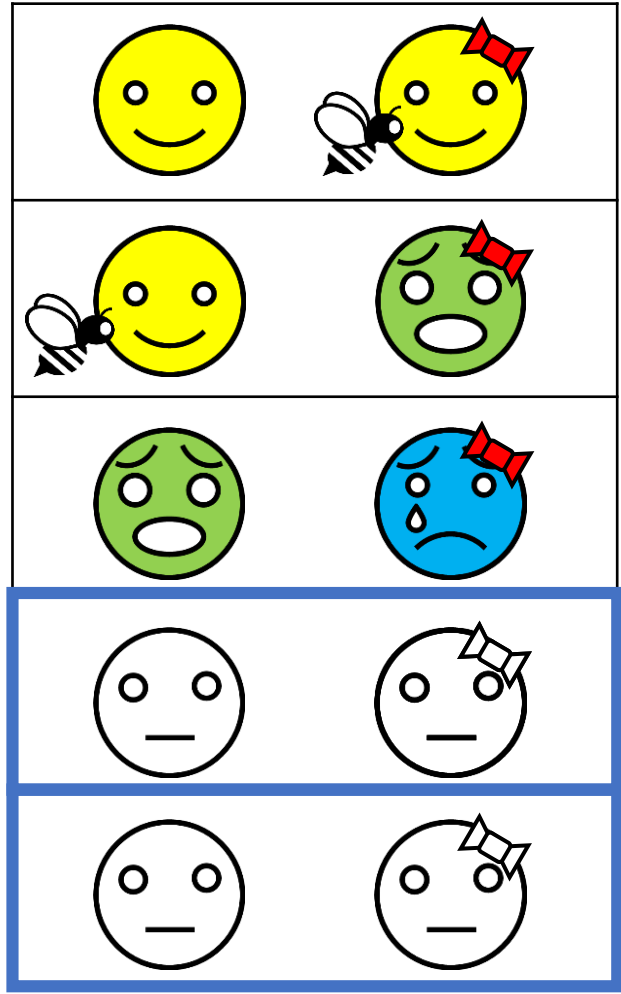
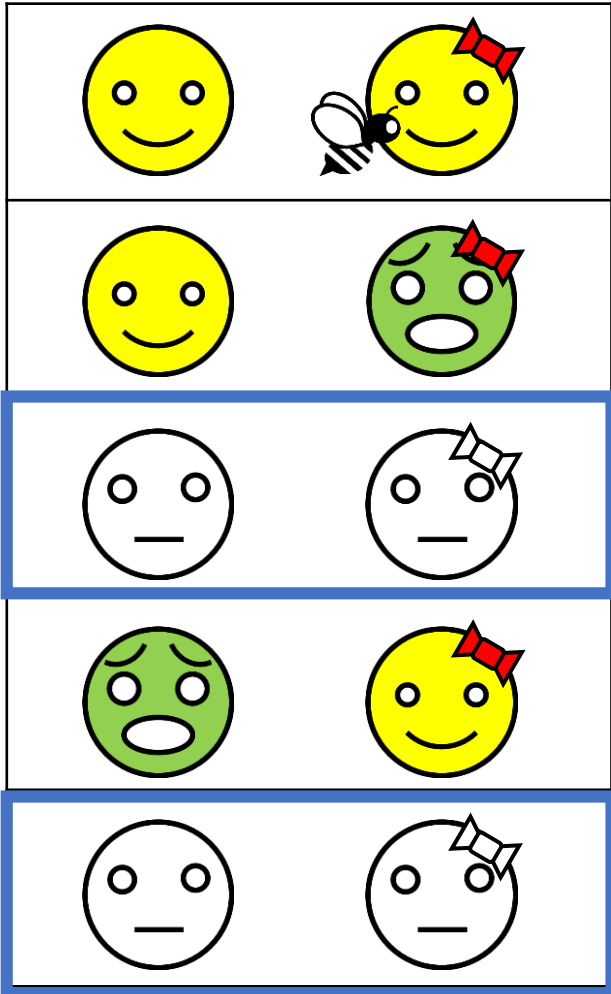


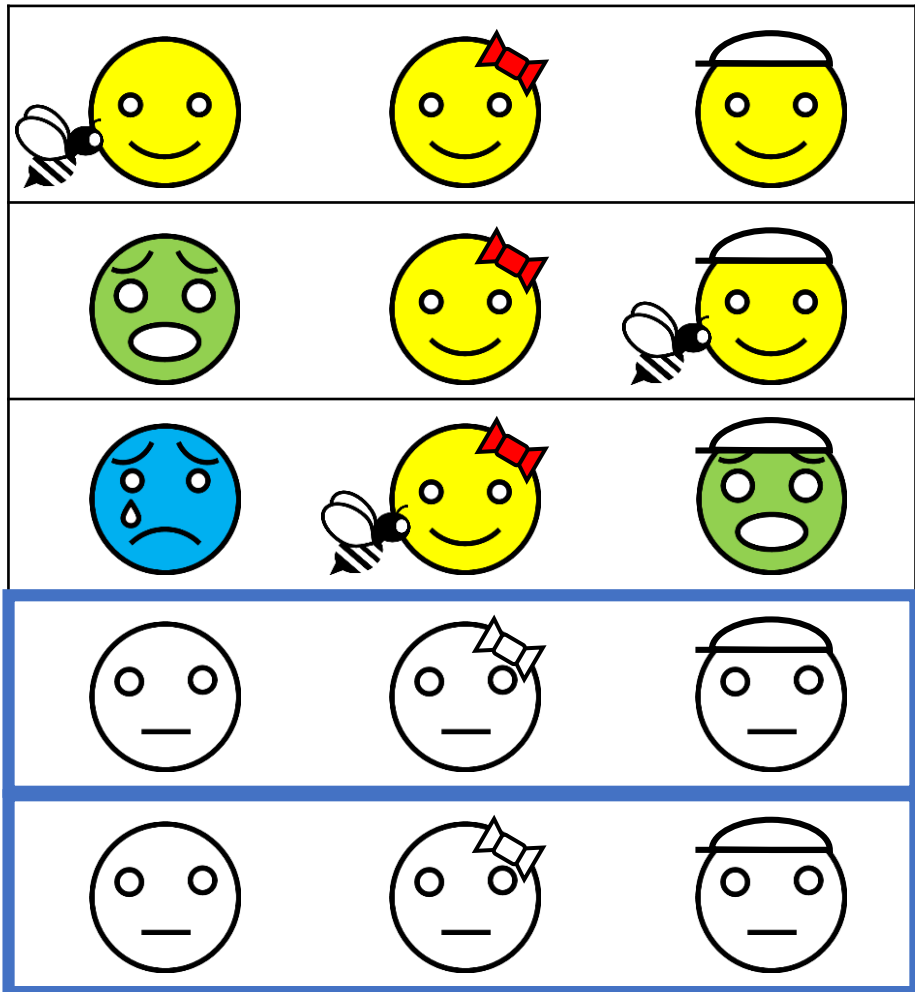
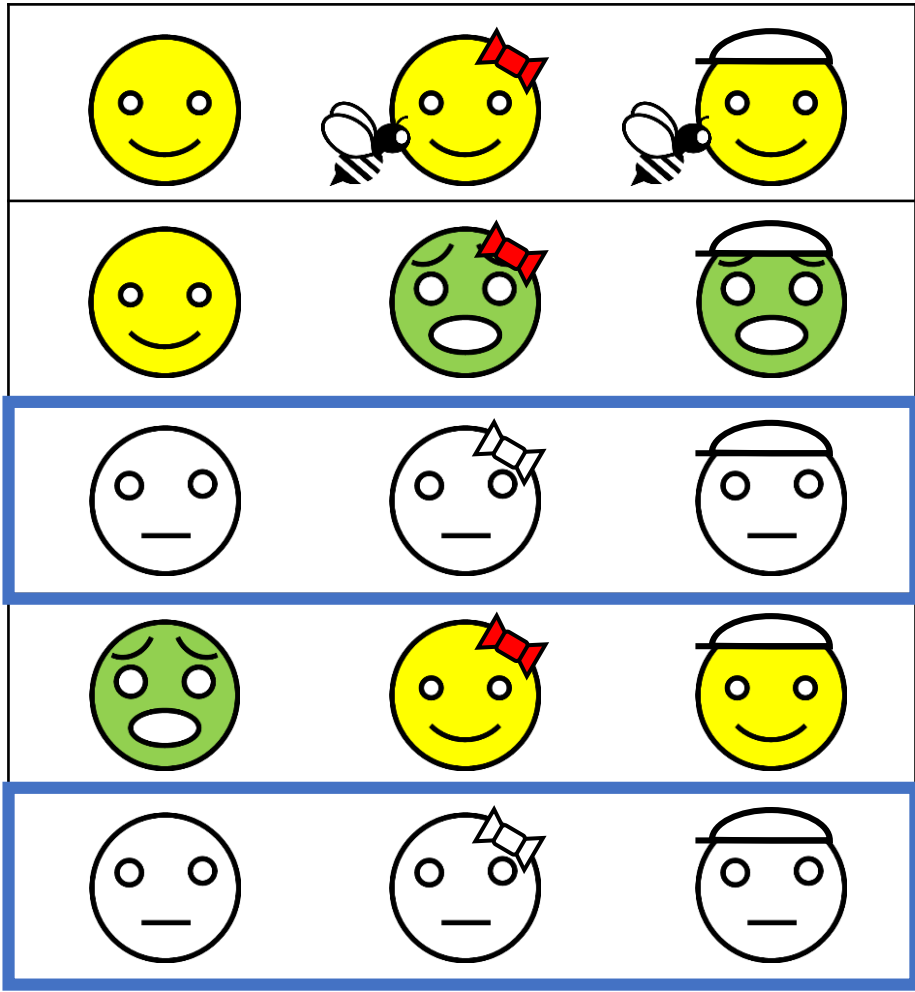
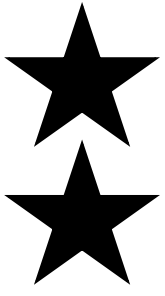




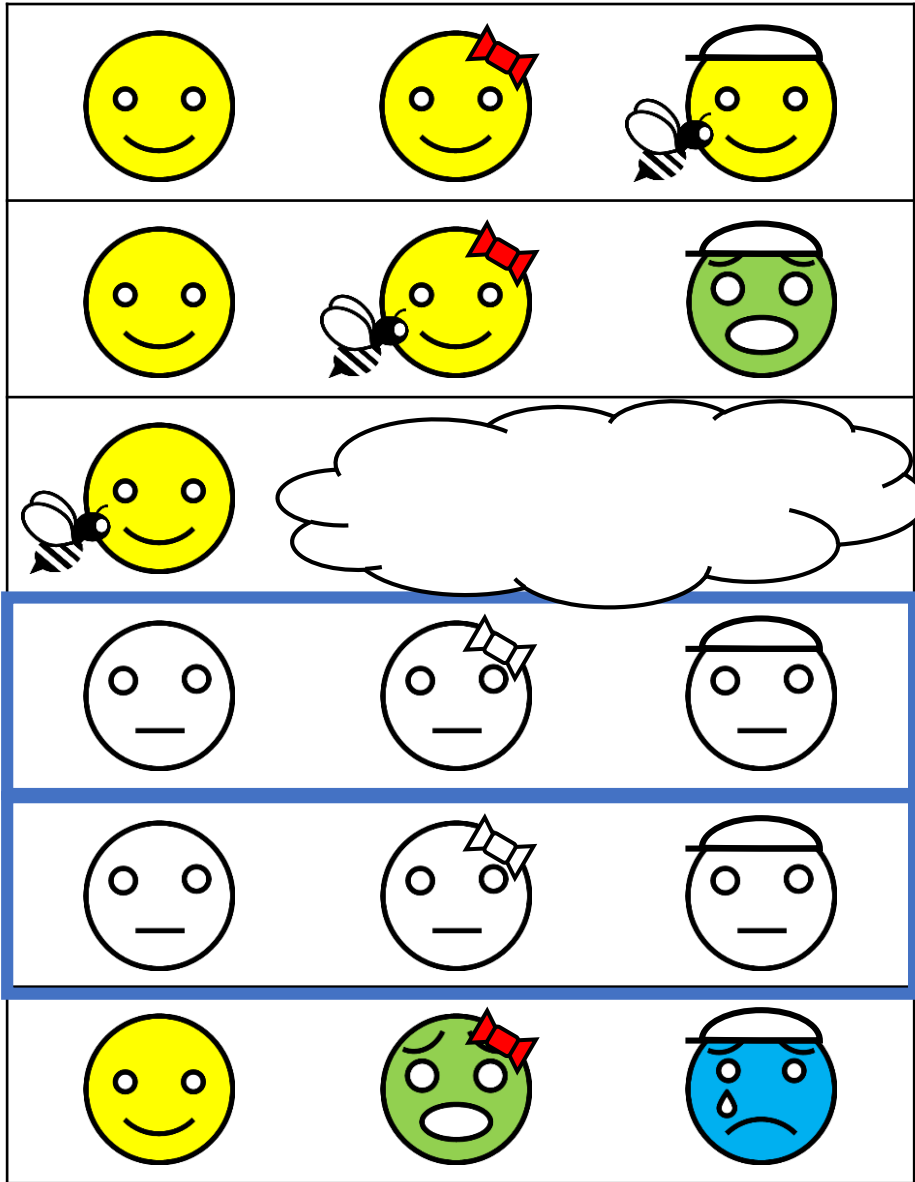
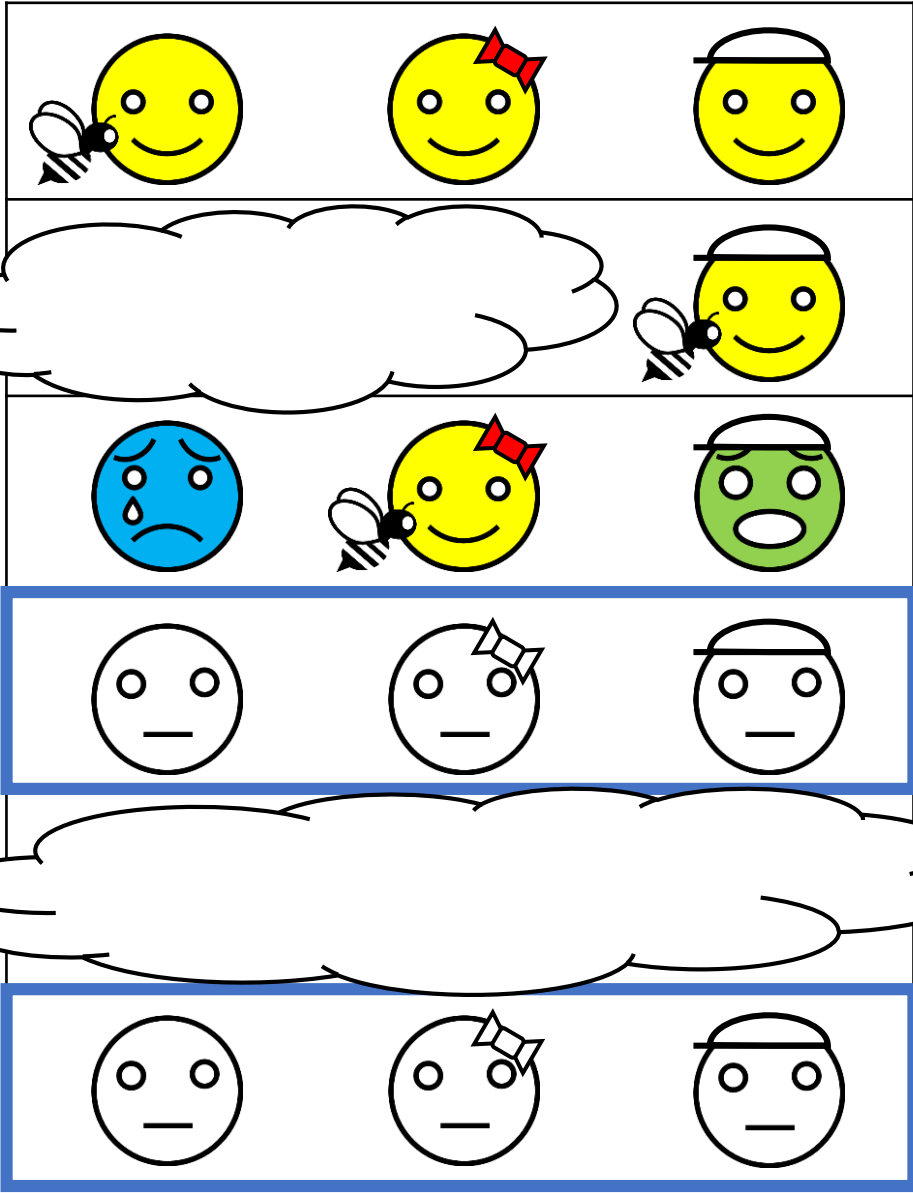
ペーパーB

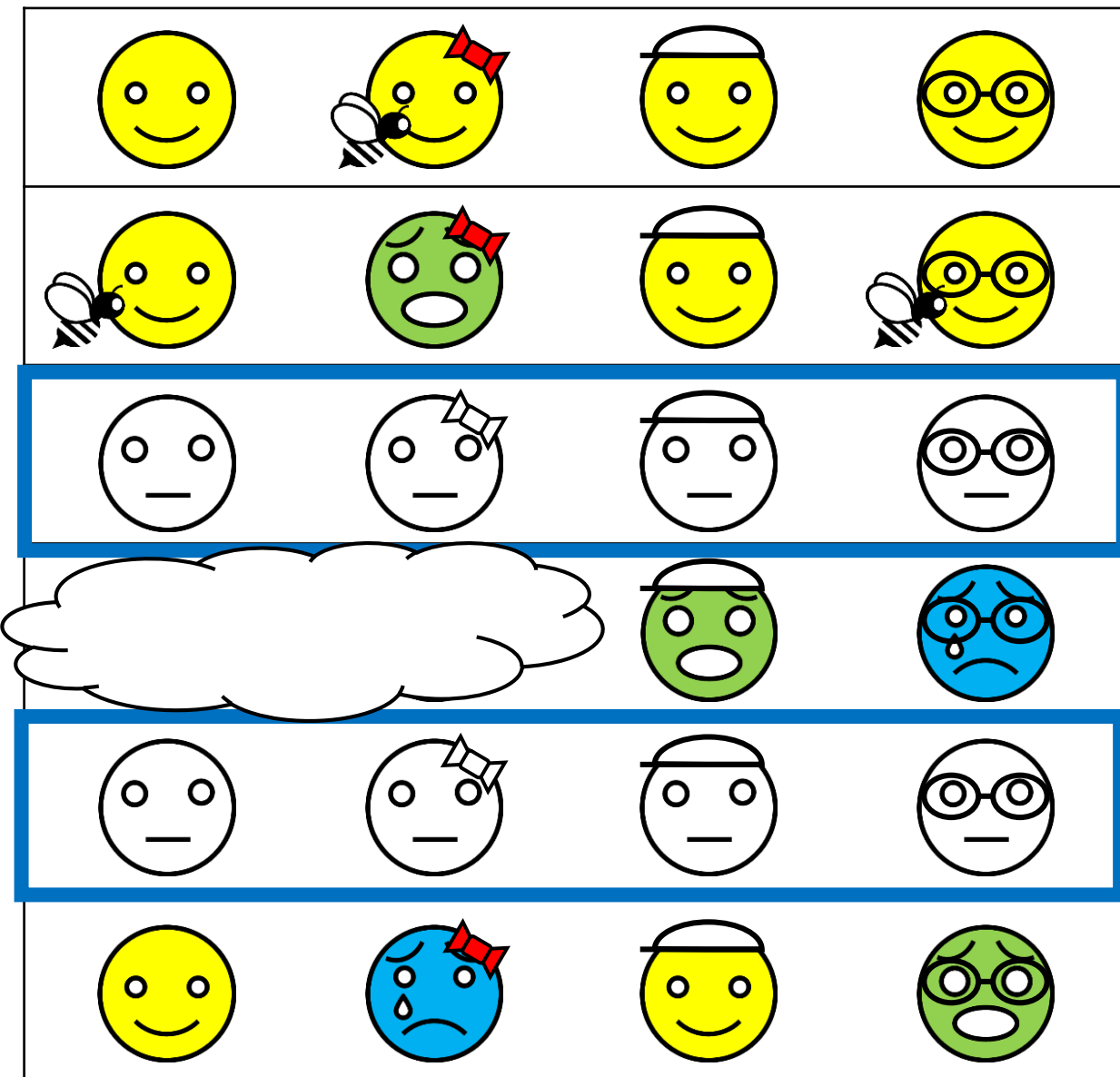
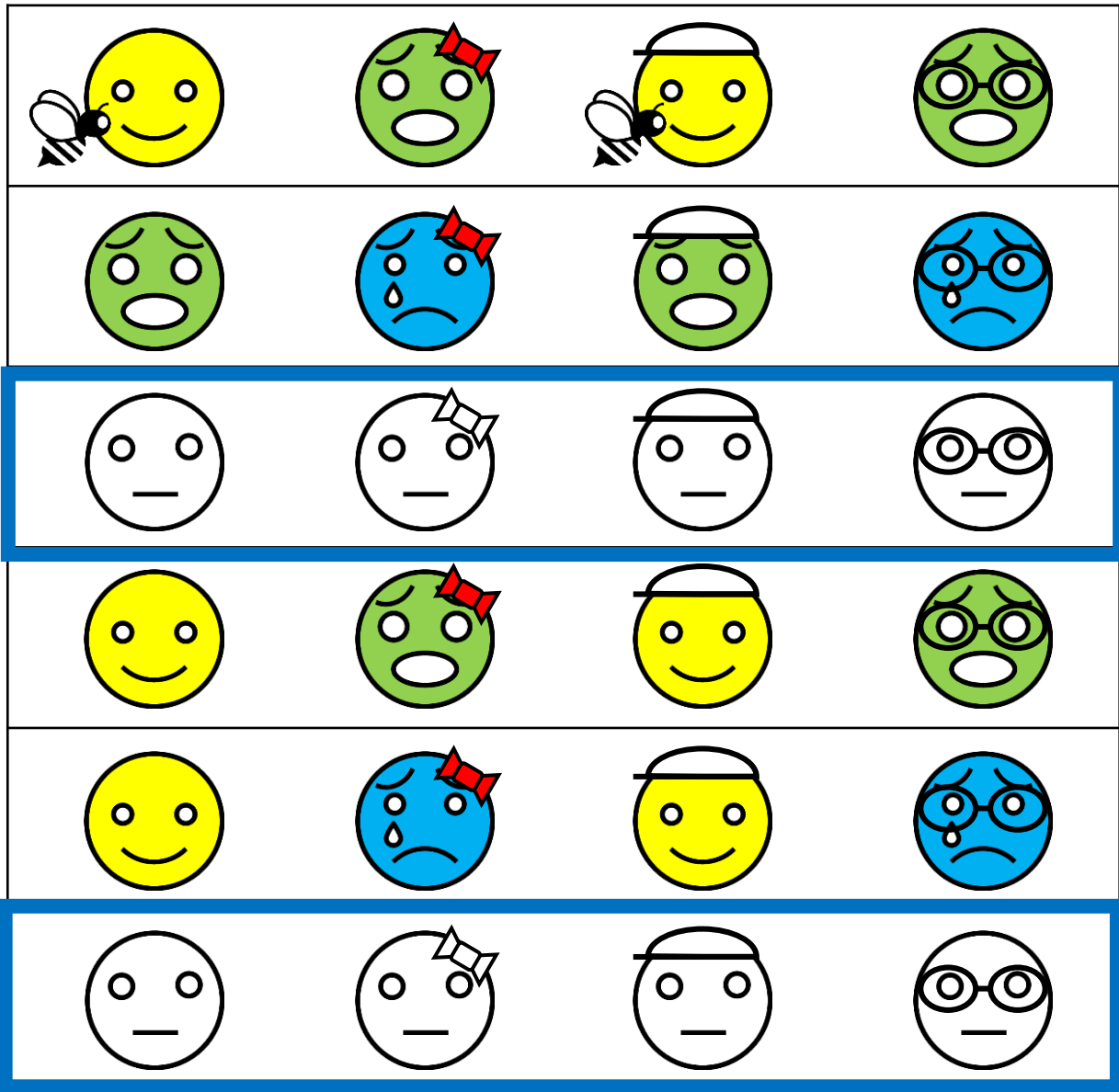
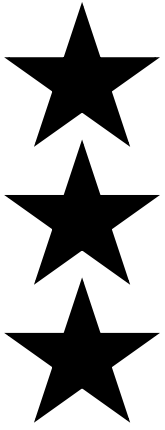


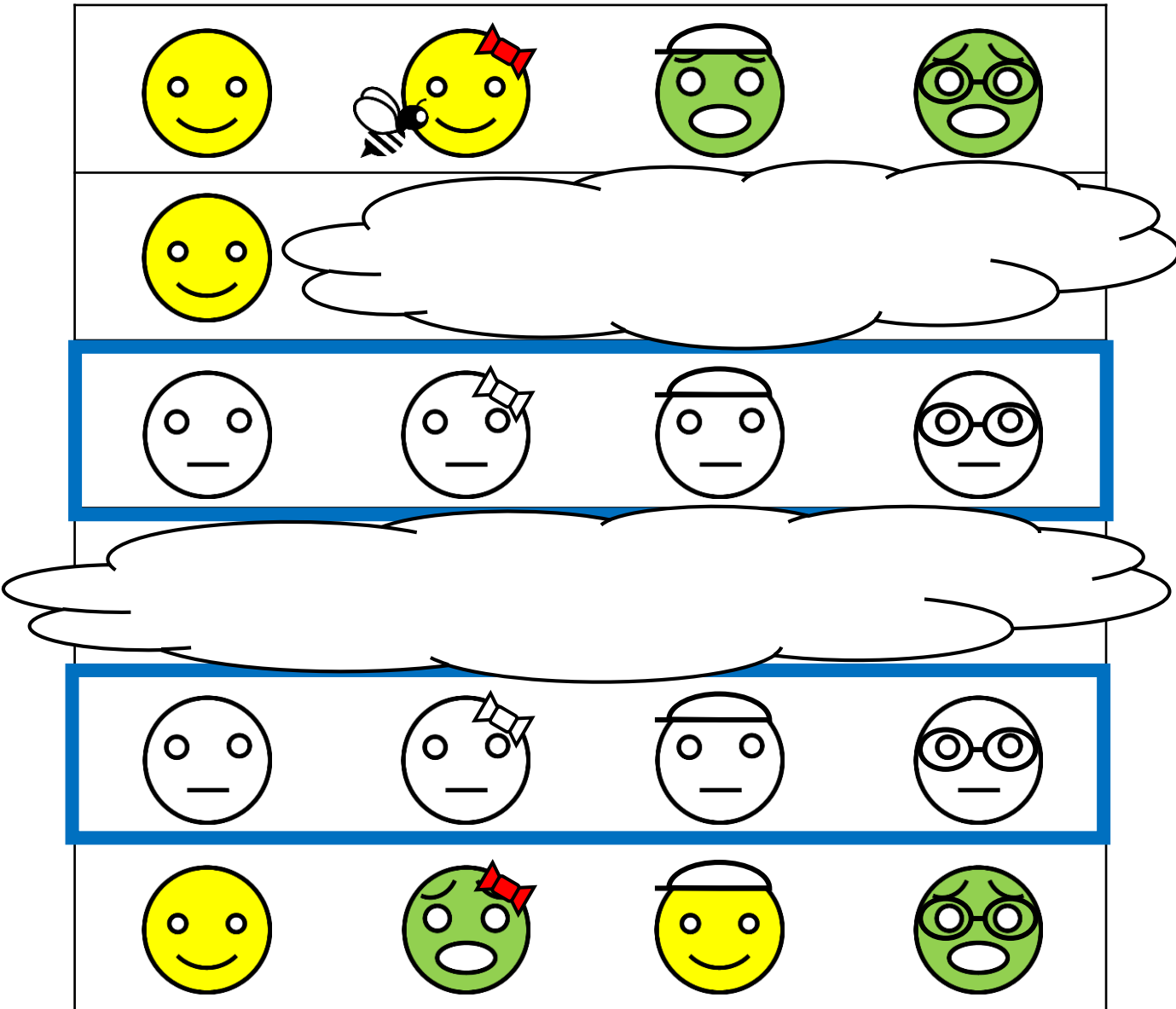
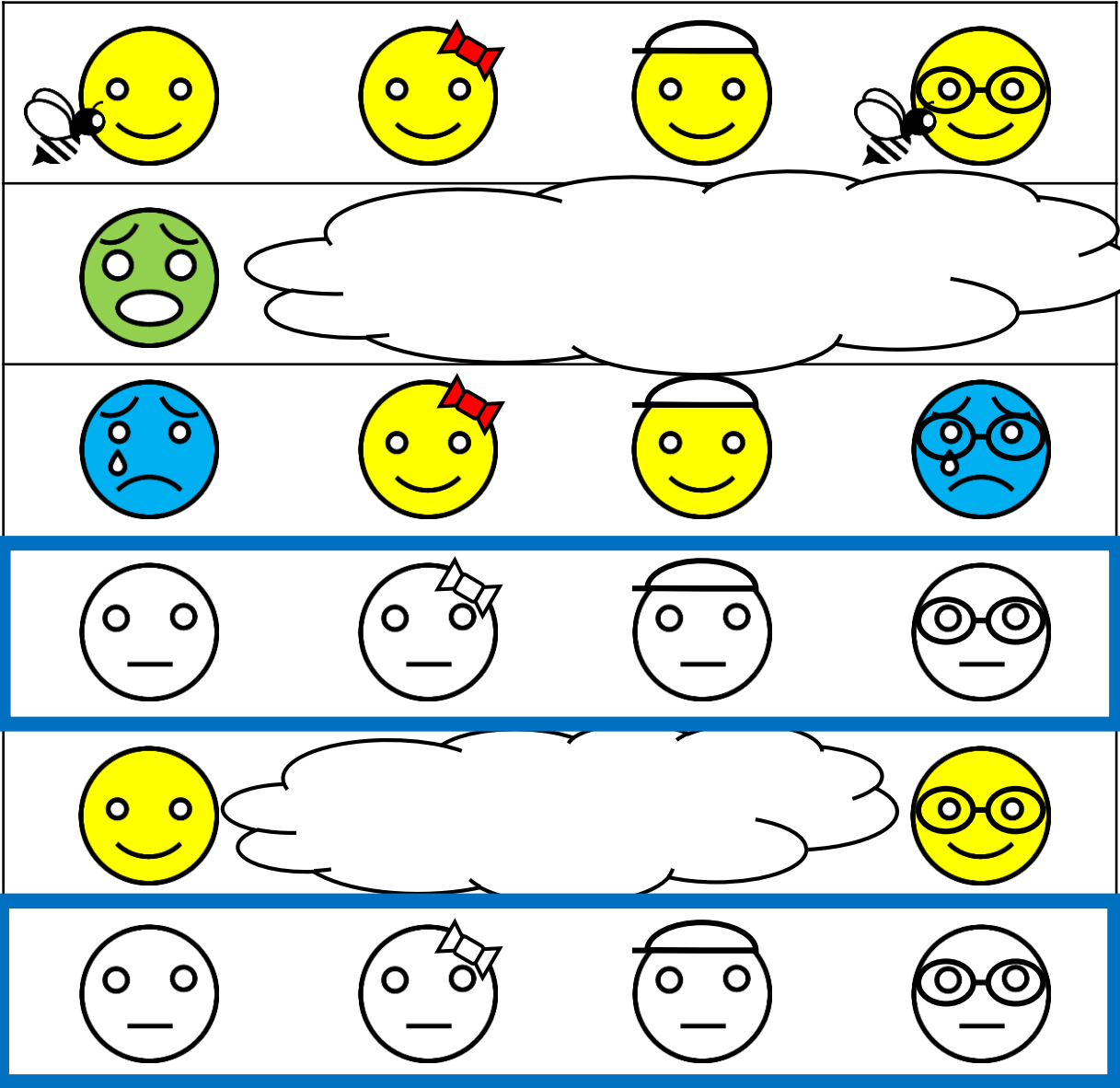


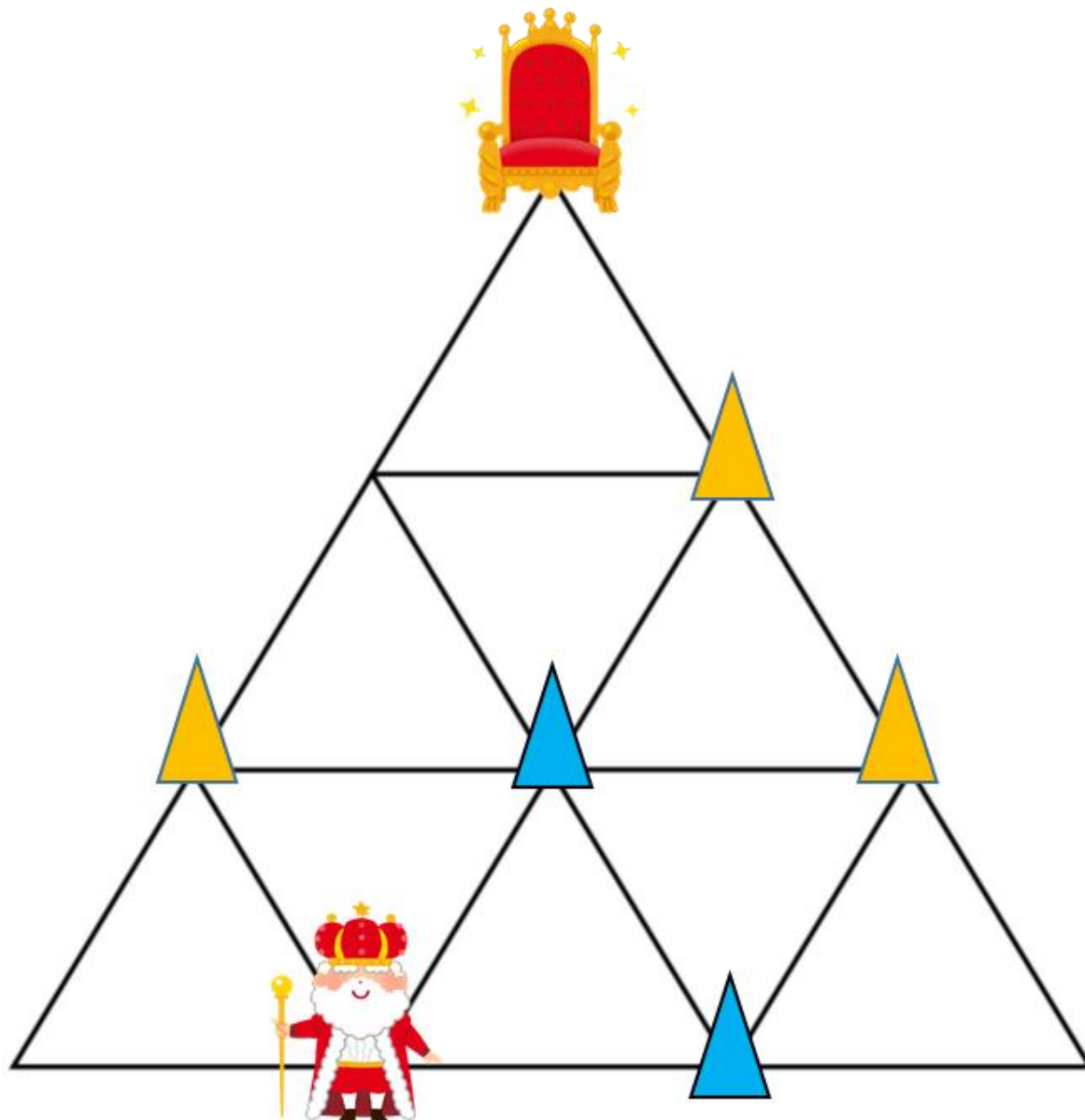
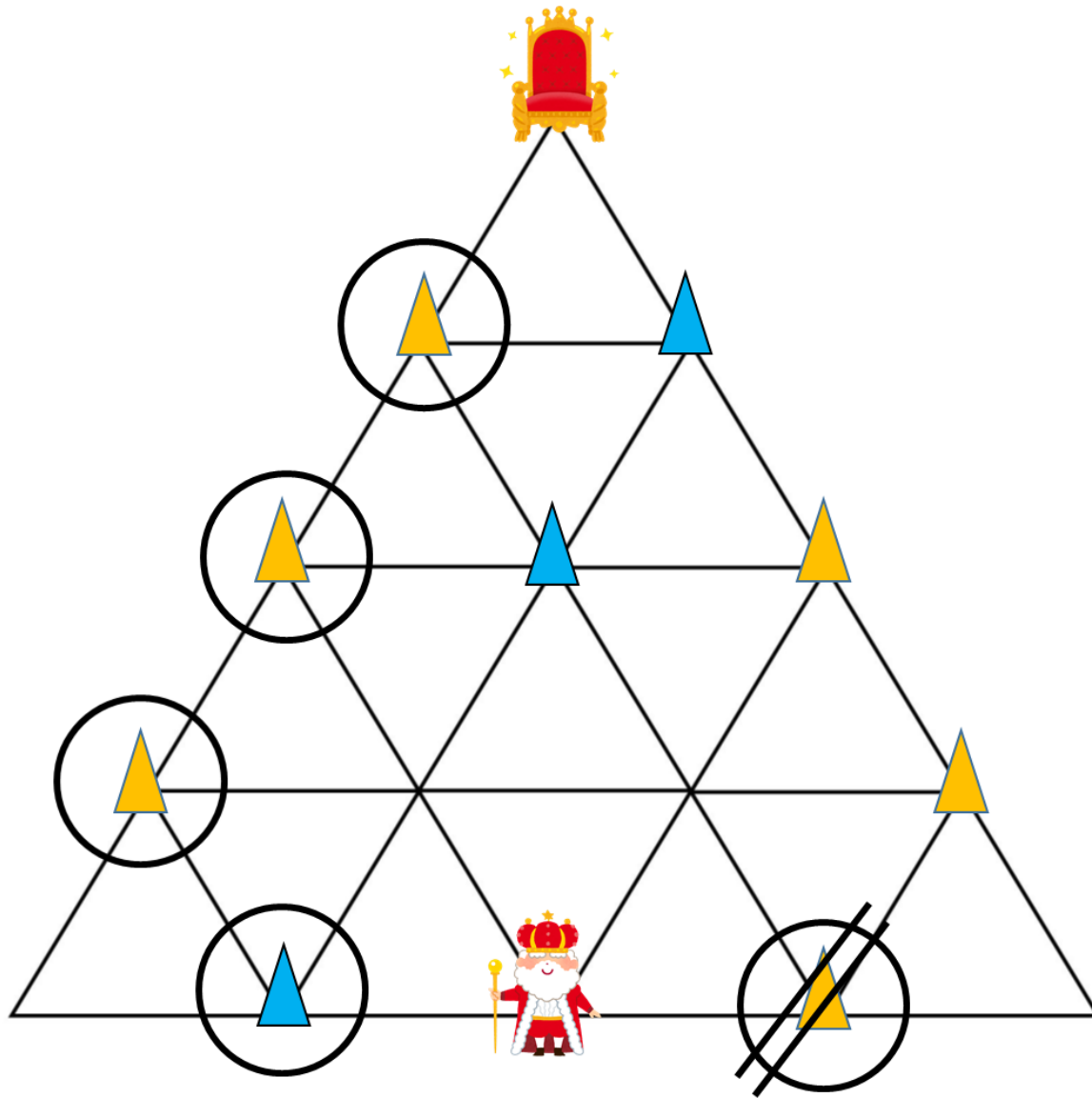


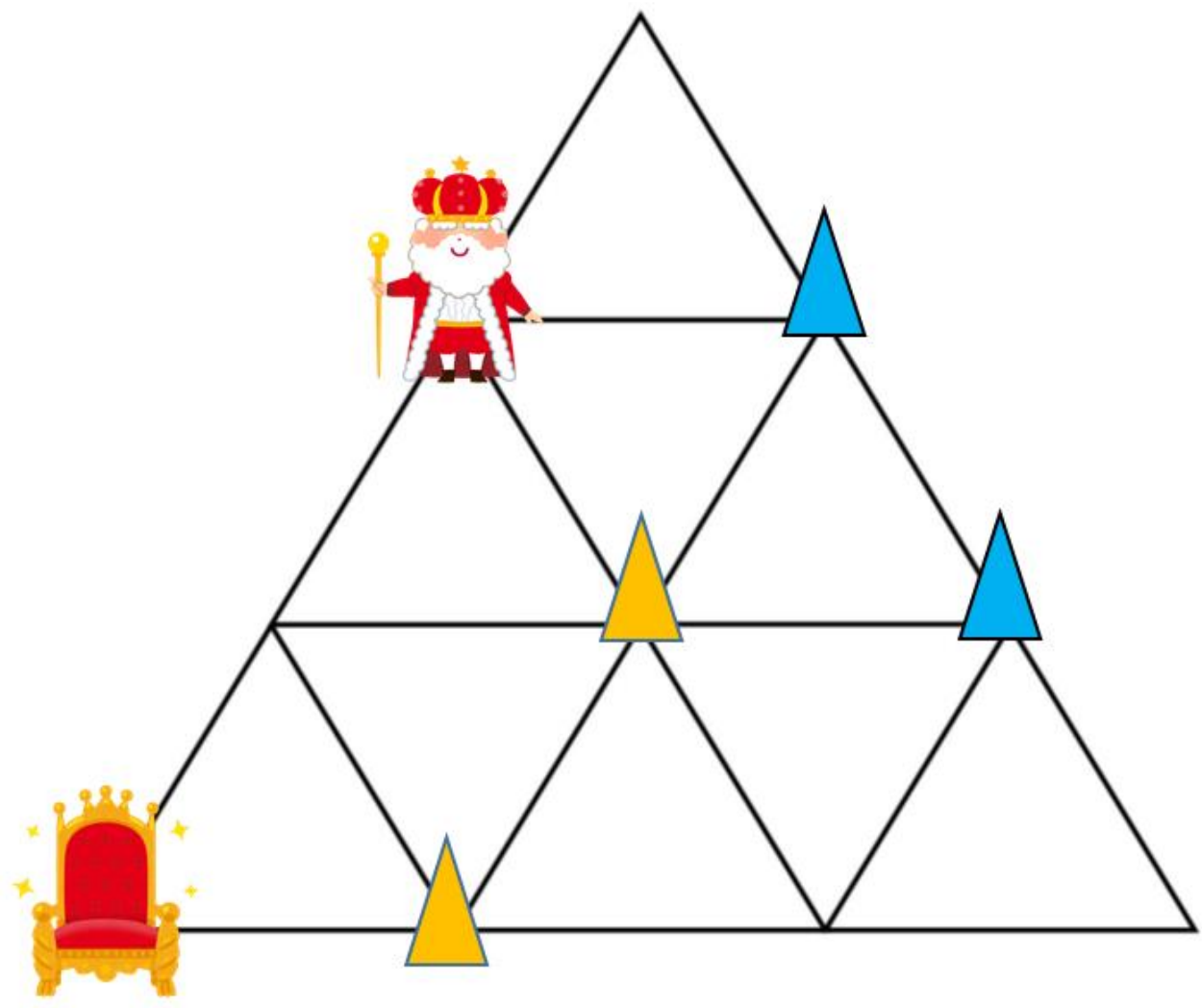
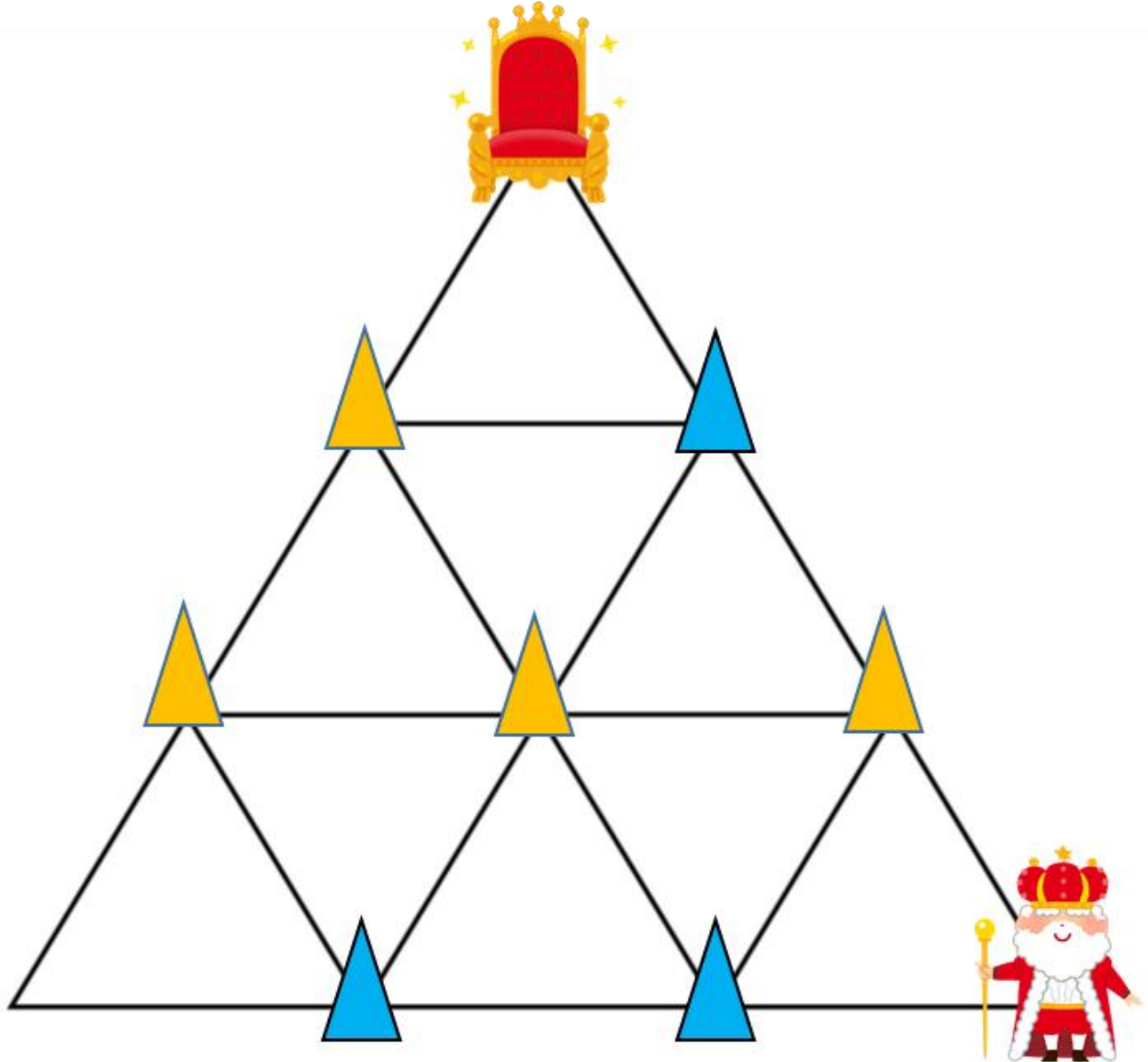


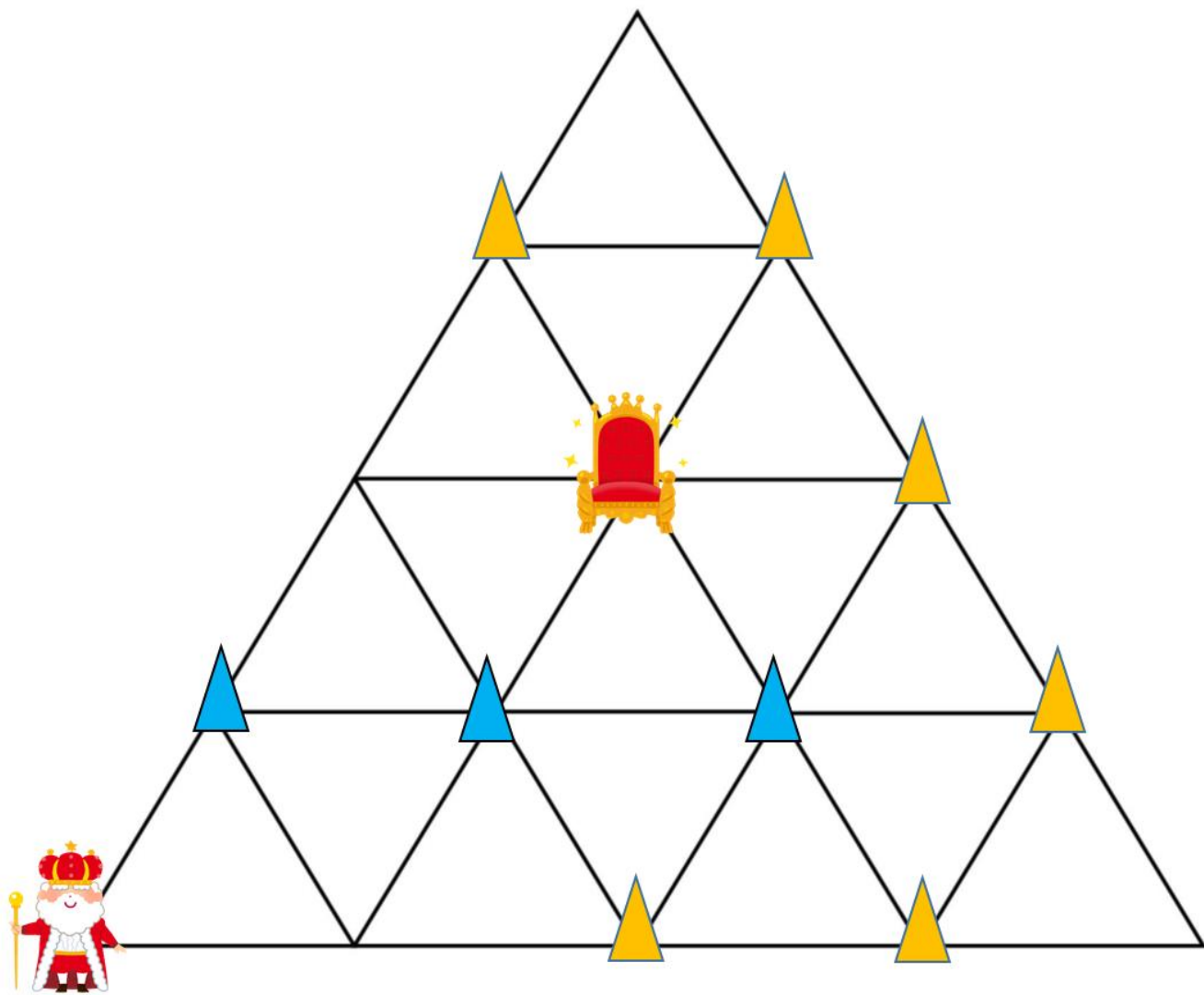
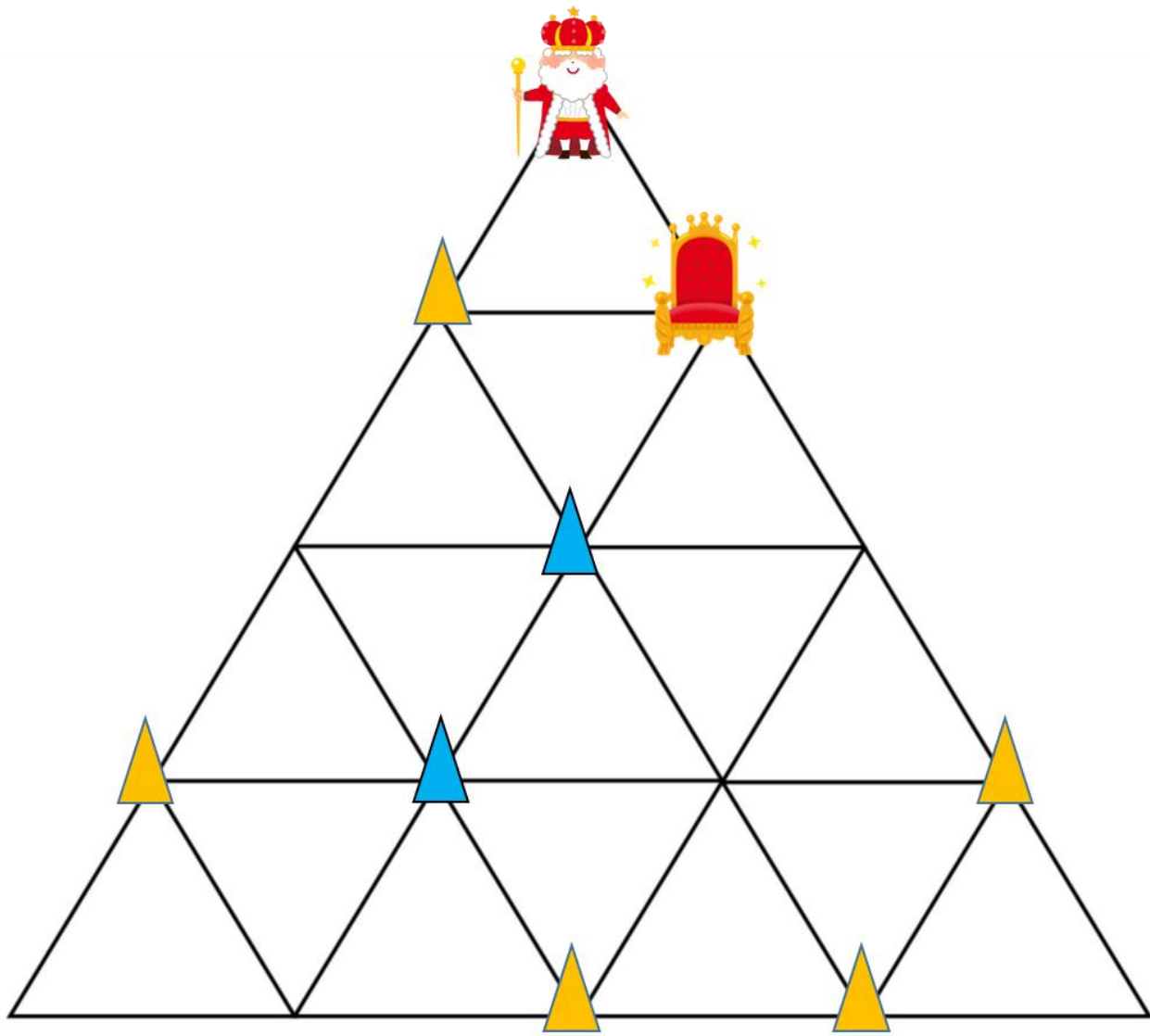


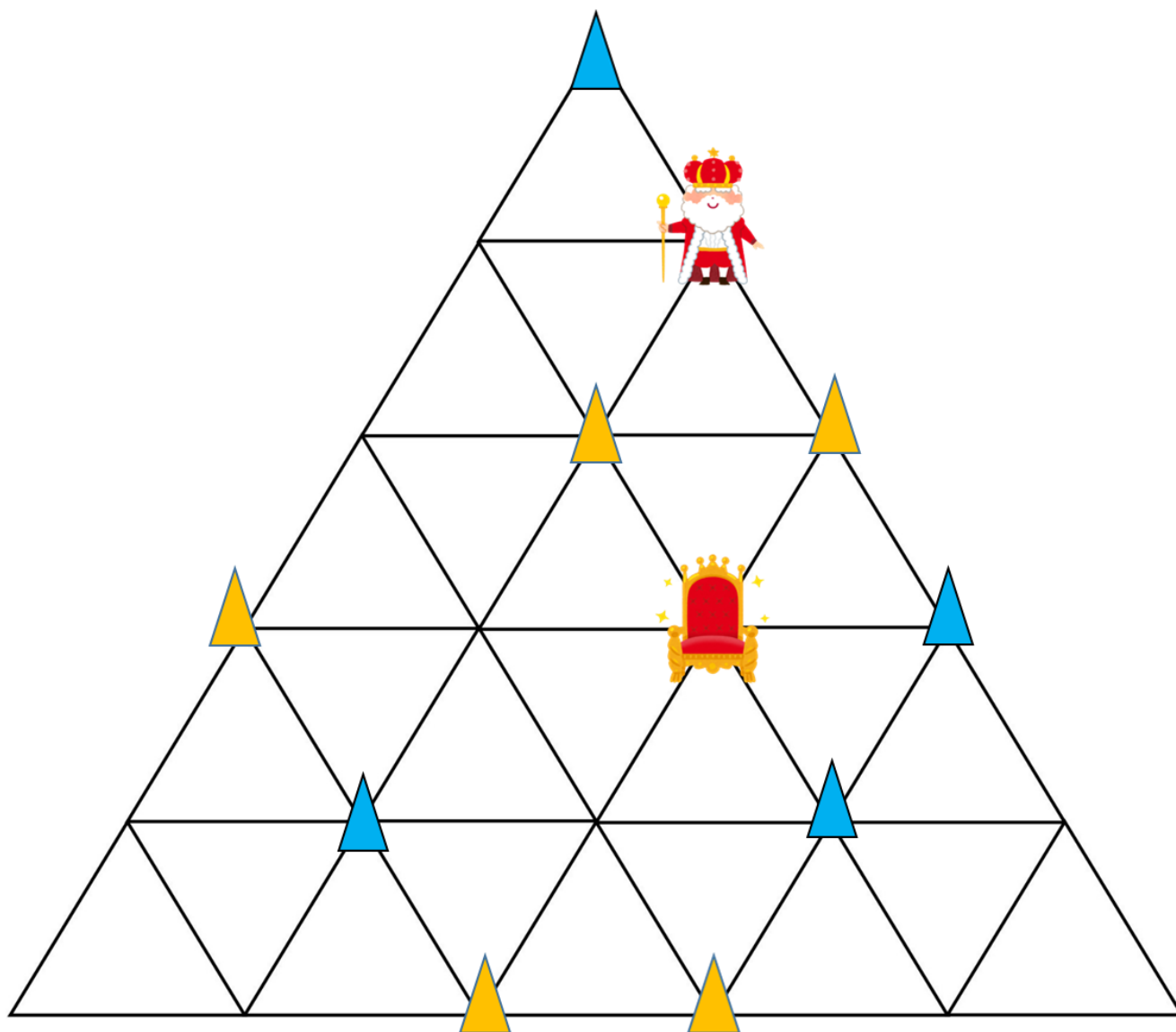
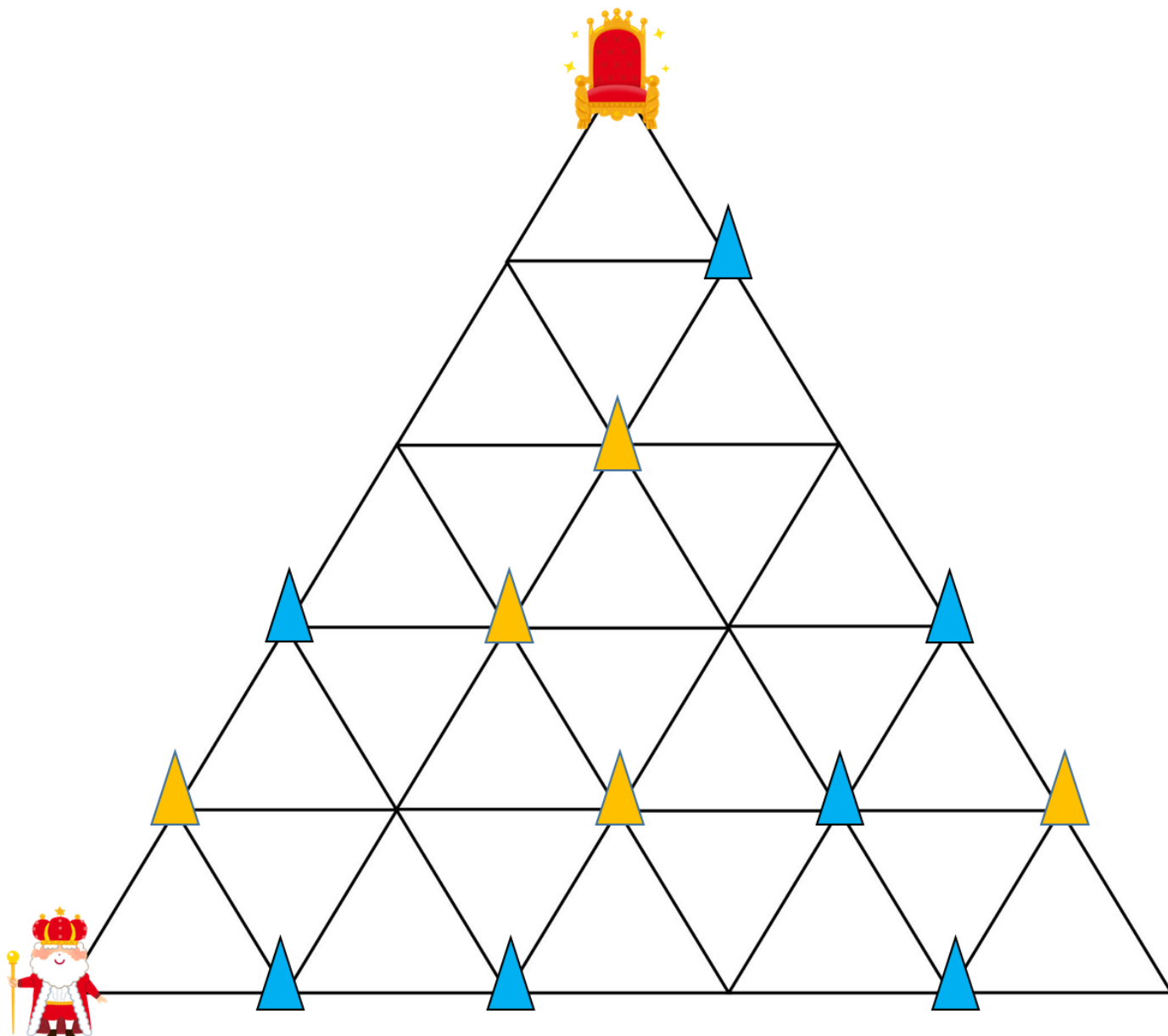


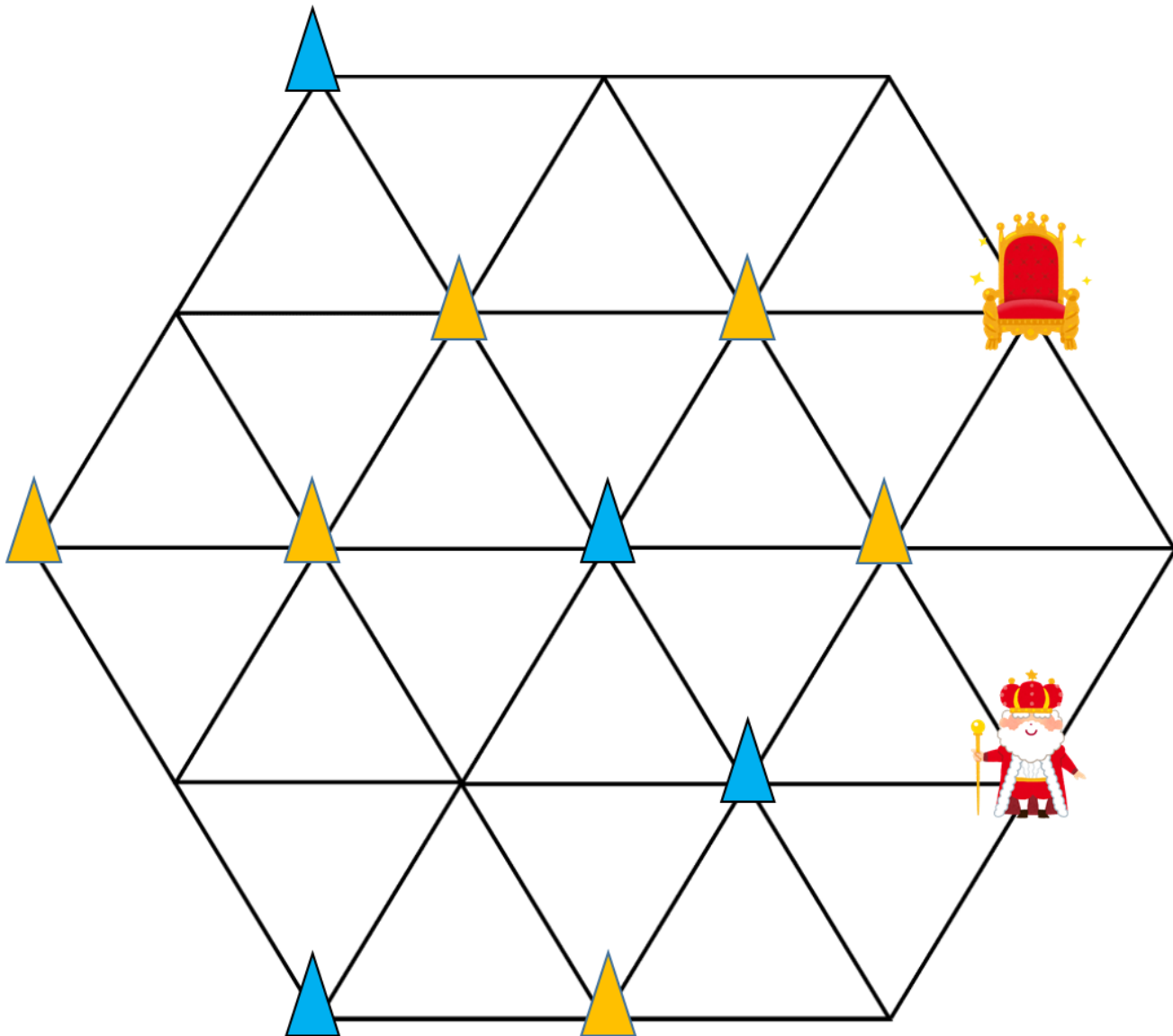
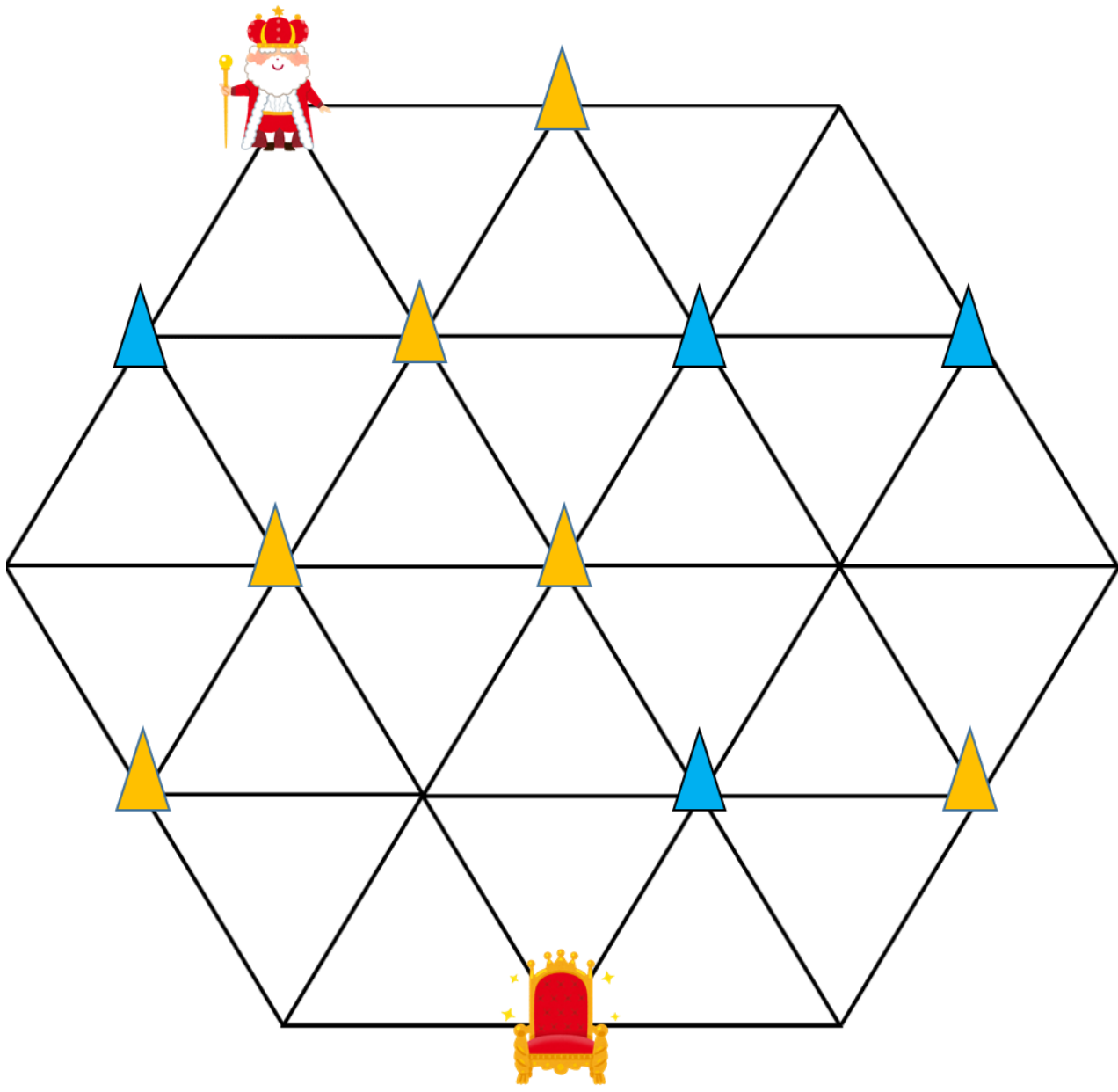




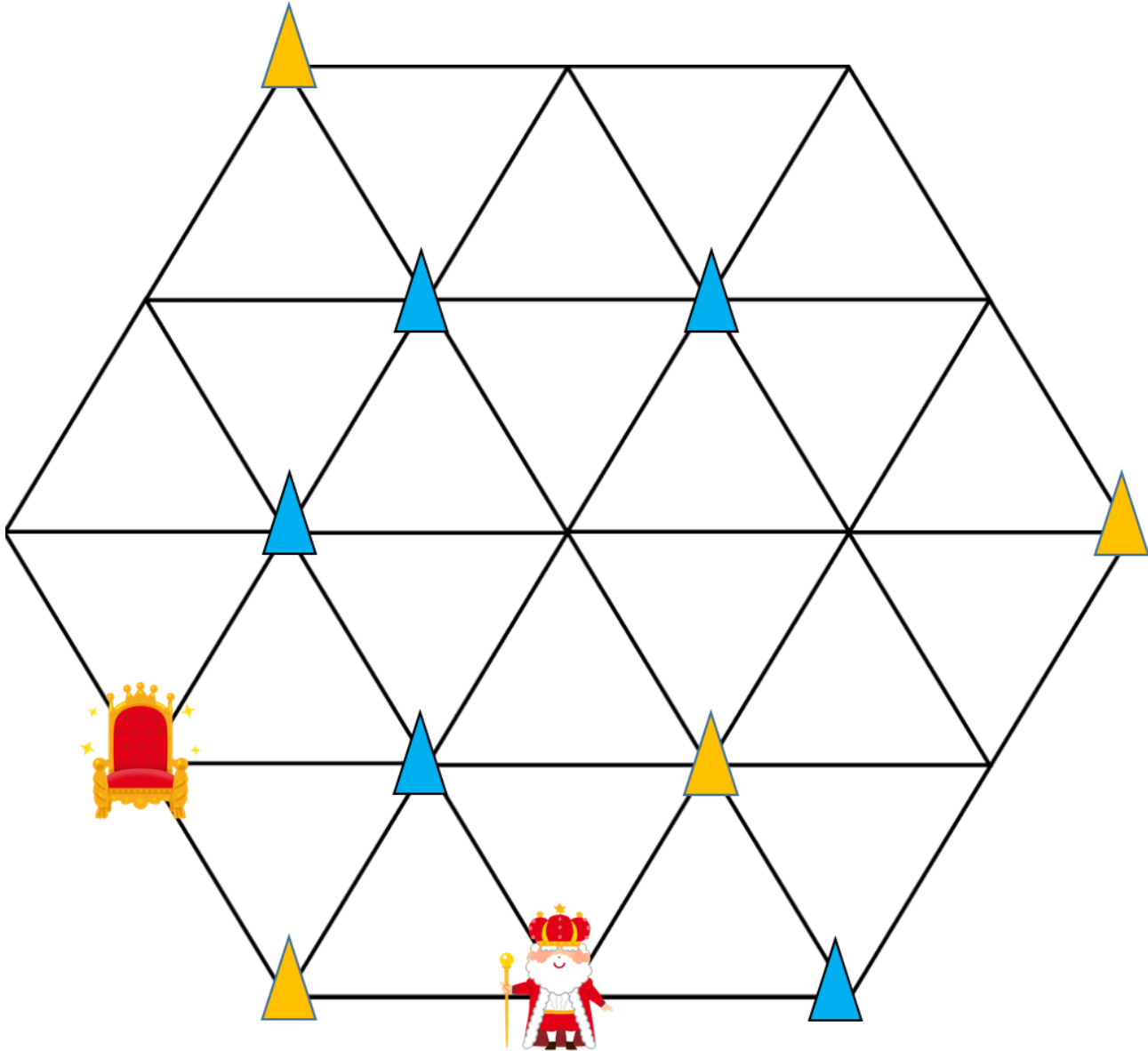
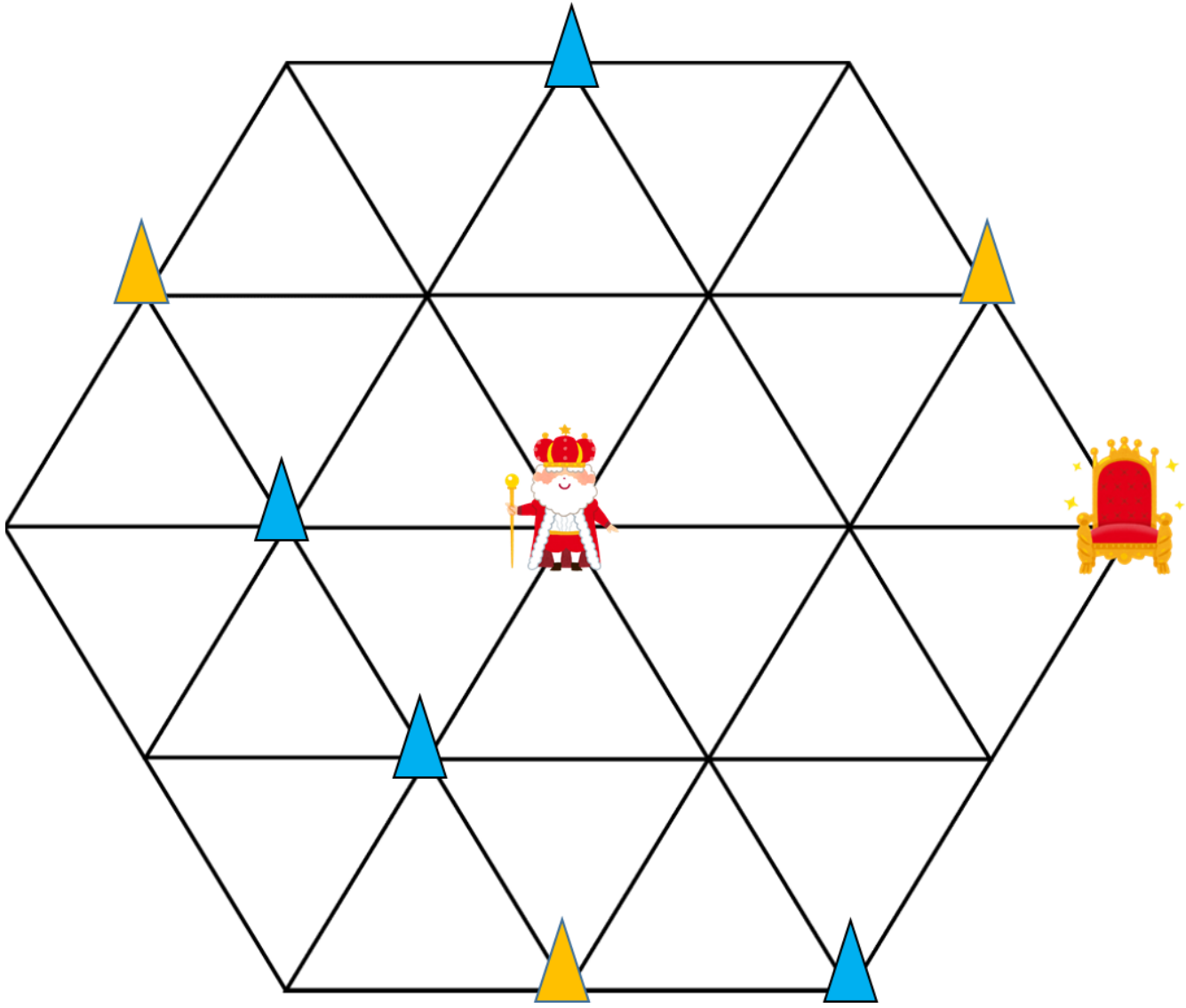








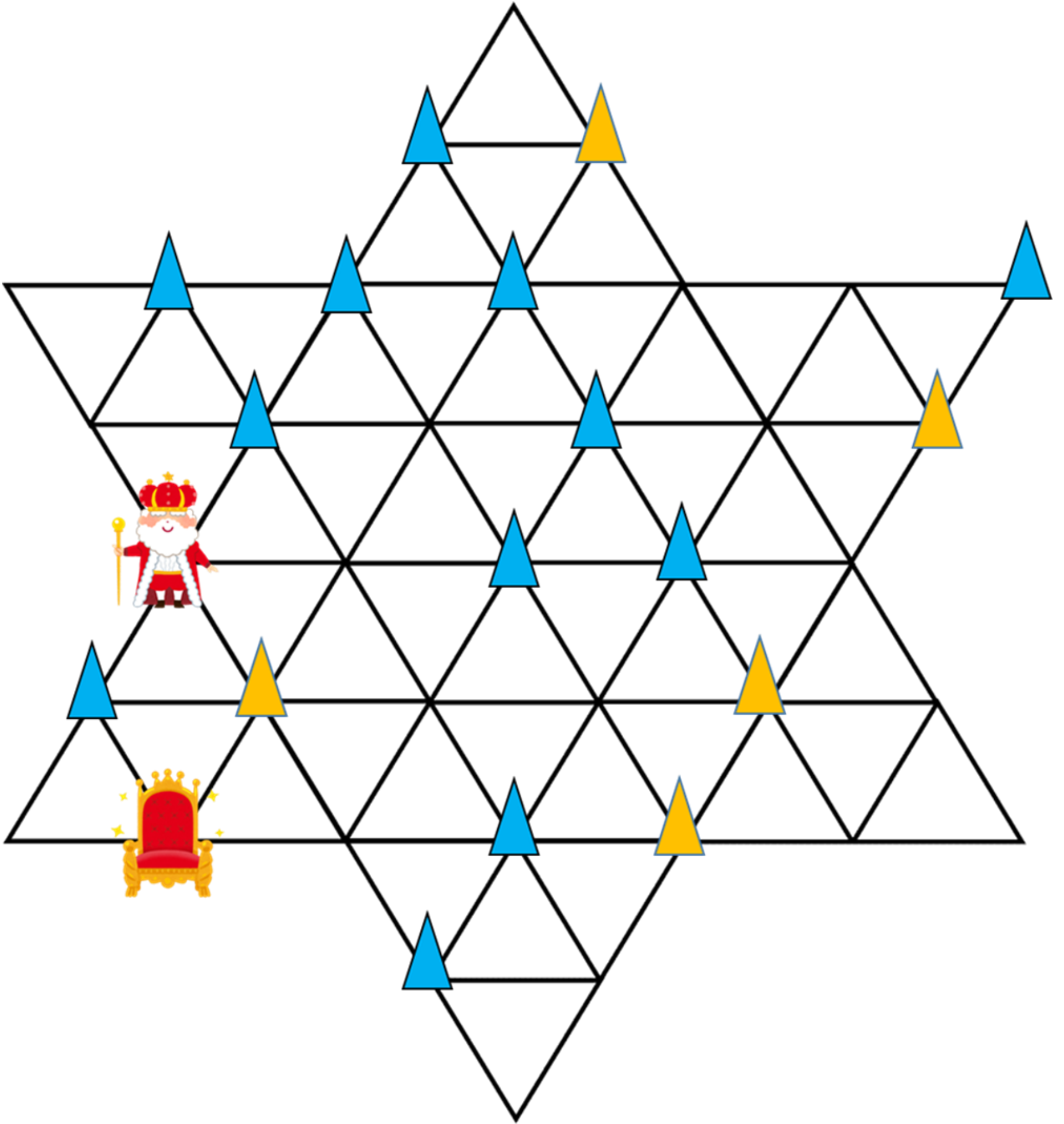












## ペーパーA・B 発問文

### 【ペーパーA】

おはようございます(こんにちは)。このお部屋では、いろいろな問題にチャレンジしてもらいます。

問題の説明は一度しかしませんので、よく聞いてください。

先生が「はじめてください」といったら、鉛筆をもってはじめてください。

先生が「やめてください」といったら、答えるのをやめて鉛筆を置いてください。

ページを開いて前の画面を見てください。

これからペーパーAの問題をはじめます。

これからやる問題は「私は誰でしょう?」の問題です。

3つのお話を聞いて、その全てに当てはまるものを1つ選びましょう。最初に練習をします。

①わたしは、果物です。②わたしには、赤い仲間が多いです。③わたしは、白雪姫の話に出てきます。  
わたしは、だれでしょう。全てに当てはまる物1つに丸をつけましょう。

3つのお話全てに当てはまるのは「りんご」です。このように「りんご」に丸をつけたら正解です。

間違ってしまったら、2本線を引き、正しいものに丸をつけましょう。

では、始めます。鉛筆をもってください。

丸の問題です。

わたしは、野菜です。わたしは、土の中で育ちます。わたしは、オレンジ色の仲間が多いです。

私は誰でしょう?全てに当てはまる物1つに丸をつけましょう。

やめてください。次に、三角の問題です。

わたしには、色々な色があります。わたしは、お祭りで見える時があります。わたしは、冷たい食べ物です。

私は誰でしょう?全てに当てはまる物1つに丸をつけましょう。

やめてください。次に、星の問題です。

わたしは、人を乗せることもできます。わたしは、空を飛ぶことができます。わたしには、羽とタイヤが付いています。私は誰でしょう?全てに当てはまる物1つに丸をつけましょう。

やめてください。次に、黒い丸の問題です。

わたしは、木にとまっていることが多いです。わたしは、夏によくみることがができます。

わたしは、大きな声で鳴きます。私は誰でしょう?全てに当てはまる物1つに丸をつけましょう。

やめてください。次に、黒い三角の問題です。

わたしは、春によく見ることがができます。わたしは、黄色い花を咲かせます。

わたしは、たねを空中に飛ばすことができます。私は誰でしょう?全てに当てはまる物1つに丸をつけましょう。

やめてください。次に、黒い星の問題です。

わたしは、2つで1組です。わたしの仲間には、長いものがあります。わたしは、食事を食べる時役に立ちます。私は誰でしょう？全てに当てはまる物1つに丸をつけましょう。

やめてください。

次のページをめくって下さい。

これからやる問題は仲間はずれを見つける問題です。

星1つの問題です。

ものを数える時の仲間はずれの問題です。

たとえば、トマトと柿とリンゴは1個、2個と数えます。しかし、ブドウは1房2房と数えます。

このようにブドウだけ数え方が違うのでブドウが仲間外れです。

なのでブドウに丸をつけましょう。

このように、物を数える時の仲間はずれを探して○をつけましょう。間違えてしまった時は2本線を引き、正しいものに○をつけましょう。

では、星1つの問題、左側だけやりましょう。始めてください。

やめてください。星2つの問題です。

生き物が生活している場所の仲間はずれの問題です。

たとえば、ニワトリは地面で生活しますが、スズメと鶴と蝶は空を飛んで生活します。

なのでニワトリが仲間はずれです。生活している場所の仲間はずれを探して○をつけましょう。

では、星2つの問題、右側だけやりましょう。始めてください。

やめてください。ページをめくってください。星3つの問題です。

昔話の仲間外れを見つける問題です。

たとえば、北風と太陽のお話にはライオンは出てきません。このように4つのうち1つだけそのお話に出てこないものがあるので、仲間外れを見つけ、丸をつけましょう。

では、星3つの問題、左側だけやりましょう。始めてください。

やめてください。星4つの問題です。

様子を表す言葉の仲間外れを見つける問題です。

たとえば、「靴を履く、ほうきでく、洋服をたたむ」この2つは「はく」ですが、これは「たたむ」で言葉がちがいます。このように、様子を表す言葉の仲間外れを見つけ、丸をつけましょう。

では、星4つの問題、右側だけやりましょう。始めてください。

やめてください。前を見てください。

動物たちに、いちごとミルクをあわせて、イチゴミルクをつくります。

動物によっていちごミルクを作るのに使ういちごの数とミルクの本数は違います。

ネズミには、いちご1つとミルク1本で、いちごミルクを作ります。

ウサギには、いちご2つとミルク1本で、いちごミルクを作ります。

くまには、いちご5つとミルク3本で、いちごミルクを作ります。

ネズミが2匹います。この2匹のネズミに、いちごミルクを作るには、いくつのいちごと何本のミルクが必要でしょうか？

ネズミ1匹には、いちご1つと1本のミルクでいちごミルクがつかれます。  
今回はネズミが2匹ですので、もう1匹分、いちご1つと1本のミルクが必要です。  
このように、問題を解く時は、いちごが2つとミルクが2本の絵に○をつけます。  
間違えたときには 二本線をひき、正しいものに○をつけ直してください。  
ページをめくってください。このページをときましょう。それでははじめてください。

やめてください。

前を見てください。先ほどと同じように動物たちにいちごミルクをつくります。  
ネズミ、ウサギ、クマ、これらの動物に作るいちごの数とミルクの本数は同じです。

そこに新しくネコにもいちごミルクを作ります。ネコはいちごが2つミルク2本で、いちごミルクを作ります。  
ここにイチゴ4つとミルク3本があります。このいちごとミルクを全部使って、3匹分のいちごミルクをつくるとすると、ネズミ1匹きと、あとはどの動物とどの動物がいいでしょうか？  
ネズミはいちご1個とミルク1本でいちごミルクを作りますので、のこりはいちご3つとミルク2本です。ここでネコをえらんでしまうと、もう一匹が選べませんので、ねこは違います。  
ネズミとウサギをえらぶと、いちごはネズミ1こ、ウサギ2こでちょうど3こ、ミルクもネズミが1本、ウサギが1本で2本になります。  
なので今回はネズミとウサギに○をつけます。

ページをめくってください。このページを解きましょう。それでは、始めてください。

やめてください。

ペーパーAの問題はこれでおしまいです。問題の本を閉じてください。  
そのまま、待っていてください。

## 【ペーパーB】

ペーパーBの問題を配りました。1枚目を開いてください。前の画面を見てください。  
これからペーパーBの問題をはじめます。  
前の画面を見てください。

ここに、笑顔の子がいます。いつも笑顔ですが、蜂が飛んでくると、この子はびっくりして、泣いてしまいました。泣いた後は、笑顔に戻りました。このように、何かにびっくりすると泣いてしまいますが、すぐに笑顔に戻ります。  
ここには、3人の子がいます。左の子の所に、蜂が飛んできました。この子は、びっくりして泣いてしまいました。泣いてしまった子は笑顔に戻り、右の子は笑顔のままですが、真ん中の女の子は、隣の子が泣いたことにびっくりして、泣いてしまいました。泣いてしまった女の子は笑顔に戻りますが、隣にいた二人は真ん中の子が泣き出したことにびっくりして、泣いてしまいました。

このように、誰かが泣いてしまった時、その子は笑顔になりますが、隣にいる笑顔の子はびっくりして、泣いてしまいます。  
びっくりした子や泣いている子は、となりの子が泣いても気づきません。  
びっくりした子は泣いてしまい、泣いている子は笑顔になります。この後、真ん中の女の子は、隣の子が泣いたことにびっくりしてしまいますね。



問題には、子どもたちの顔が並んでいます。

白い顔のところは、どのような顔をしているか考えて、笑顔の顔全てに○をつけましょう。

まずは、練習です。この白い顔の中で、笑顔の子を探してみましょう。

真ん中の女の子の所には、蜂が飛んできたため、女の子はびっくりしてしまいます。残りの二人は、笑顔のままですね。そのため、この二人に○をつけましょう。

下の段も考えてみましょう。雲に隠れてしまっている所は、笑顔ですね。泣いている女の子は、笑顔に戻ります。隣にいる二人は、女の子が泣いたことにびっくりしてしまいます。そのため、笑顔は女の子だけです。女の子に、○をつけましょう。

もし、間違えて○を付けてしまった時は、二本の線で消してから、正しい顔に○を付けてください。

問題は、星が1つのページから、3つのページまであります。できるところまで、どんどん進めましょう。それでは、始めてください。

やめてください。ダイヤのマークが1つついているページを開いてください。

前の画面を見てください。王様と椅子がありますね。みなさんには、王様が椅子のところまで行く道を考えてもらいます。道には、黄色と水色のコーンが並んでいます。王様は、三角のコーンを飛び越えて進むことができます。まず、右側の道を見てみましょう。黄色のコーンが1つあるので、飛び越えます。

三角のコーンが3つ並んでいます。コーンが続いて置いてある場合、全てのコーンが同じ色であれば飛び越えることができます。この場合、黄色・黄色・水色と、全てが同じ色のコーンではないので、飛び越えることができません。王様は、この道では椅子のところまで行くことができません。

この道は通ることができないので、別の道を探してみましょう。

では、左側の道はどうでしょう。青いコーン1つを飛び越えます。

今度は、コーンが3つ並んでいます。同じ色のコーンが続いて置いてある場合は飛び越えることができるので、王様はこのコーンを飛び越えることができます。

王様が椅子の所に着くまでに、飛び越えたコーン全てに○をつけましょう。

もし、間違えて○を付けてしまった時は、二本の線を引いて消しましょう。

問題は、最後のページまで解いてください。それでは、始めてください。

やめてください。

問題の本を閉じてください。

これで、ペーパーのお部屋ですることはおしまいです。鉛筆を筆箱にしまいましょう。

## 「作業」

**テーマ** 角の生えた不思議な海の生き物が飛び出してくる、水族館を作る。

**材料** 学校が用意するもの：画用紙(大・小)、ウェットティッシュ  
家庭から持参するもの：はさみ、スティックのり、クレヨン(16色)

### 発問・作業の流れ

「角の生えた不思議な海の生き物が飛び出してくる、不思議な水族館」を作ることを伝える。

#### 指示①

大きい画用紙を、印刷されている波の線に沿って切る。切ったら半分に折る。

#### 指示②

小さい画用紙に、印刷されている線に沿って切り込みと折り目を入れる。

「角の生えた不思議な生き物」をクレヨンで描く。

#### 指示③

小さい画用紙にのりをつけ、大きい画用紙の線に沿って貼り付け、飛び出す仕組みを作る。

貼り付けた後、あいているスペースに自由に他の海の生き物や、水族館の様子をクレヨンで描く。

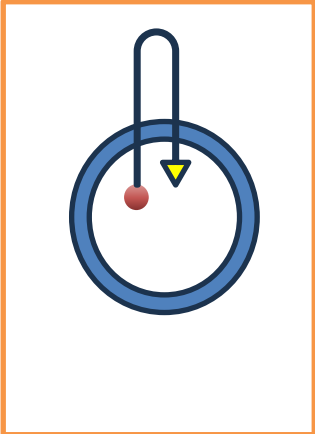
#### 指示④

片付けを行う。

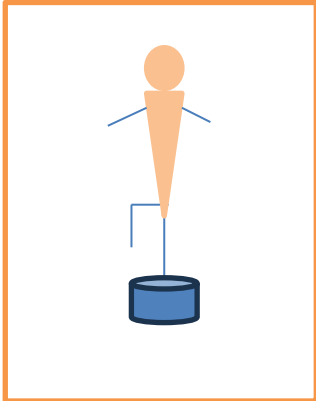
お家から持ってきた、はさみ・のり・クレヨンをかばんの中にしまい、汚れた手や机をお手拭きできれいにする。

## 「運動」

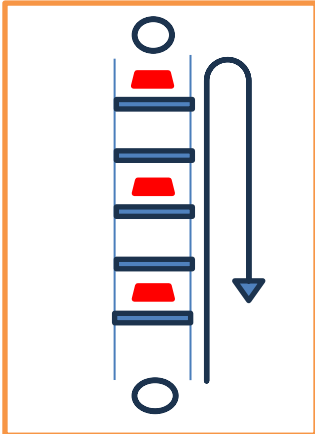
方法：①～④の順に運動のやり方を説明しながら模範を示し、その後、試験を実施する。



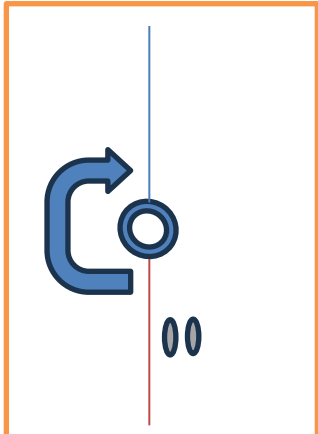
①ボールキャッチ  
下に置かれているフラフープの中で、ボールを自分の真上に投げてから1回手を叩き、落ちてきたボールをキャッチする。(1人3回実施)



②かかしバランス  
バランスディスクの上にどちらか片方の足のみで立ち、かかしの姿勢でバランスをとる。



③グーパージャンプ  
床に置かれたラダーをリズムよくグーパージャンプで進む。(往復で実施する)



④腕支持横歩き  
足を輪っかの中に入れ、両腕の力だけで反対側のゴールまで移動する。

### 【発問文】

おはようございます。運動のやり方を話します。お手本を見ながらよく聞いて下さい。

番号を呼ばれたら、白い線の前に立ちます。はじめに、ボールキャッチです。下に置かれている青いフラフープの中に入ってボールを持ちます。「よーい、スタート」の合図で、フラフープの中でボールを自分の真上に投げてから1回手を叩き、落ちてきたボールをキャッチします。これを1人3回、実施します。

次は、かかしバランスです。白い線の前に立ち、「よーい、スタート」の合図で、置かれているバランスディスクの上に片足で立ち、両手を横に広げてバランスをとります。8秒数える間は、バランスディスクから落ちないように頑張ってポーズをとり続けてください。もし途中で落ちてしまっても、そのまますぐに続けてください。

次は、グーパージャンプです。まずは黄色い輪っかの中に立ち、「よーい、スタート」の合図で、床に置かれているラダーに引っかからないように、反対側の赤い輪っかまでグーパー交互にリズムよくジャンプをします。赤い輪っかまでたどり着いたら、同じようにグーパージャンプで黄色い輪っかまで戻ってきます。途中で止まってしまっても最後まで続けてください。最後は、黄色い輪っかの中に入ったらゴールです。

最後は、腕支持横歩きです。青い輪っかの中に足を入れて、両手を床につけます。「よーい、スタート」の合図で、腕の力を使って時計回りに移動します。反対側の線を越えたらゴールです。この時、足が輪っかの外に出ないようにしましょう。

終わったらここに戻ってきて、順番に並んで待っていてください。

# 「行動観察」

テーマ 「絵合わせ(神経衰弱)」

概要 3~4人が1チームになって、「絵合わせ(神経衰弱)」を行う。  
カードは全部で20枚(10種類×2枚)  
最後に、カードを使って「しりとり」を行う。

## 試験の流れ

- ①「絵合わせ(神経衰弱)」のルールの説明をする。  
グループに分かれて、ゲームを行う。
- ②ゲームが終わったら、10種類のカードで「しりとり」ができることを説明する。  
10種類のカードを、協力して「しりとり」の順番に並べる。

